

# MAX<sup>®</sup>

ビーポップミニ  
**Bepop**<sup>®</sup>  
mini

テープワープロ PM-2400

## 取扱説明書



6 - 24mm 幅  
レタリテープ対応

ご使用になる前に必ず本書をお読みください。  
本書はお読みになった後も大切に保管し、いつでも手にとって読むことができるようにしてください。  
アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、下記までお問い合わせください。

マックス お客様相談ダイヤル

TEL : 0120-510-200

受付時間 : 9:00 ~ 18:00

※土・日・祝祭日および当社休日を除く

お使いになる前に

お使い  
前に

本体を準備する

本体  
準備

試しに作ってみる

試し  
に作る

文字を入力・編集  
する

入力・  
編集

ラベルを印刷して  
貼り付ける

ラベル  
印刷

文章を保存する

文章  
保存

いろいろな  
ラベルを作る

作成の  
応用

パソコンでラベルを  
作る

パソ  
コン活  
用

カスタマイズする  
(オリジナルテンプレート作成)

カス  
タマイ  
ズ

長くお使い  
いただくために

メン  
テナ  
ンス

付 録

付  
録

# はじめに

このたびは、マックス テーブワプロ Bepop mini PM-2400 をお買い上げいただきありがとうございます。PM-2400（以下、「本機」）は、キーボードからの入力、編集などの簡単操作にてラベルを作成することができるのに加え、テンプレートを使用することにより、目的にあったラベルを簡単に作成することができます。また、パソコンと接続し、専用ソフトを使って編集することにより、より簡単にオリジナルデザインのラベルを効率的に作成することができます。

## ■ こんなことができます

### 本機のみで手軽にラベルの作成



### パソコンで凝ったラベルを効率的に作成



### 簡単に文字を入力・編集して…



## 会議議事録

販売企画部  
佐藤ゆみ

P.26

### ソフトの様々な機能を活用して…

自在に文字レイアウト  
楽しくラベリング!!



## 非常口

…**ありがとう**…

### 縦書きにしたり、飾り枠を付けて…



## クリップ

## 55周年誌

P.62

LBIコーポレーション

管理部門 営業部

備品番号 123456789



〒104-0031  
東京都中央区京橋三丁目3番8号  
**堀田 太郎**

TEL.03-1234-5678 FAX.03-1234-5679

### テンプレートの内容を変えるだけで…



チャリティーゴルフ大会 120分  
〇〇〇ゴルフ倶楽部 '05年4月

## No.5



デスクトップパソコン  
購入日:2005/12/01  
管理番号:Z001-005  
管理部門:購買部 購買G

P.71

## EXIT

## 11

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30

2005

P.82

## ■ マニュアルについて

- ・ご使用の前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。
- ・なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- ・本書の内容は万全を期して作成いたしましたのですが、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ・本書にある以下の記号は、重要度によって追加情報を表示するために使用しています。



この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。もしも、従っていただけない場合は、故障やケガ、誤動作の原因となる場合があります。



この記号は、本機をよりよく知っていただくため、また機能的に使っていただくための情報や手順を表しています。

## ■ 本機について

- ・この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理や電池消耗などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## ■ 商標について

- ・IBM は International Business Machines Inc. の商標です。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他記載したソフトウェア名、商品名、製品名は、一般に開発元各社の商標または登録商標です。

## ■ オンラインユーザー登録について

弊社では、ご購入の製品をインターネットのホームページでご登録していただいたお客様を対象に、より充実したサービス&サポートや情報提供などを行っております。この機会にぜひご登録ください。

オンラインユーザー登録のホームページアドレス：

<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

Bepop mini / Bepop の情報：

<http://www.bepop-net.com/>

## もくじ

### まずは

確認して準備しよう



### お使いになる前に…………… P.6

1. 安全上のご注意…………… P.6
2. 使用上のご注意…………… P.8
3. 付属品の確認…………… P.8
4. 各部の名前とはたらき…………… P.9
5. ラベル作成の流れ…………… P.13

### さあ

簡単に使ってみよう



### 試しに作ってみる…………… P.19

1. ファイルラベル（横書き）を作る…P.19
2. ファイルラベル（縦書き）を作る…P.22
3. ケーブルマーキングラベルを作る…P.24

### 文字を入力・編集する …… P.26

1. 入力方式（ローマ字入力 / かなめくり入力）を選択する…………… P.26
2. 入力モード（ひらがな / カタカナ、大文字 / 小文字）を選択する…………… P.27
3. ひらがな / カタカナを入力する…………… P.28

### もっと

上手に使ってみよう



### 文章（テキスト）を保存する…………… P.49

1. ファイルに保存する…………… P.49
2. ファイルを呼び出す…………… P.50
3. ファイルを削除する…………… P.51
4. ファイルを印刷する…………… P.52

### さらに

高度に使ってみよう



### パソコンでラベルを作る…………… P.82

1. 各ソフトウェアの紹介…………… P.82
2. ソフトウェアをインストールする…P.83
3. 簡単なラベルを作る…………… P.88
4. 他の種類のラベルを作る…………… P.94

### もしも

知りたいことや  
困ったことがあったら



### 長くお使いいただくために…………… P.111

1. 画面の濃さを変更する…………… P.111
2. お手入れのしかた…………… P.111
3. 困ったときには…………… P.113
4. 長期間お使いにならないときは…P.119

## 本体を準備する..... P.14

1. 電源を準備する.....P.14
2. レタリテープをセットする.....P.16
3. 電源を入れる.....P.17
4. テープ送りをする.....P.18



弊社では、ご購入の製品をインターネットのホームページでご登録していただいたお客様を対象に、より充実したサービス&サポートや情報提供などを行っております。この機会にぜひご登録ください。  
ユーザー登録のホームページアドレス：  
<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

4. 漢字を入力する.....P.32
5. アルファベットを入力する.....P.34
6. 数字を入力する.....P.35
7. スペースを入力する.....P.35
8. 記号やイラストを入力する.....P.36
9. カーソルの使い方.....P.38
10. 文字を削除する.....P.38
11. 文字を挿入する.....P.39
12. 全ての文章を削除する.....P.39
13. 改行する.....P.40
14. 文字を入力した後で改行して行を増やす.....P.41

15. 改行を取り消して文字を連結する...P.42
16. 改ブロックする.....P.42

## ラベルを印刷して貼り付ける ..... P.43

1. 印刷イメージを確認する.....P.43
2. 印刷する.....P.44
3. 特殊な方法（複数枚 / 連番 / ミラー）で印刷する.....P.44
4. ラベルを貼り付ける.....P.48

## いろいろなラベルを作る ..... P.53

1. 文字の設定を変更する.....P.53
2. ラベルの設定を変更する.....P.62
3. バーコードを使用する.....P.69
4. テンプレートを使う.....P.71



ラベルを上手に作るには、本書で説明するさまざまな機能を活用することはもちろんですが、使用するレタリテープを工夫して選ぶ必要があります。  
レタリテープの種類については、同梱の「テープカタログ」を参照してください。

## カスタマイズする（オリジナル テンプレート作成）..... P.95

1. オリジナルテンプレートを使用する...P.95
2. データベースを使用する.....P.101
3. ロゴ（イメージ）を使用する.....P.106
4. 本機のデータをバックアップする...P.109
5. バックアップしたデータを本機に戻す...P.110



本書では、各ソフトウェアのインストールから簡単なラベルの作り方でを説明しています。より詳しい情報や高度な使い方を知りたい場合は、各ソフトウェアに収録されているヘルプを参照してください。ヘルプの閲覧方法については、本書の「ヘルプの使い方」（→P.92）を参照してください。

## 付録..... P.120

1. バーコード対応一覧.....P.120
2. JIS 外漢字一覧.....P.121
3. 記号一覧.....P.122
4. ローマ字変換一覧.....P.124
5. 仕様.....P.125
6. 索引.....P.127



弊社のホームページでは、本機に関わるさまざまな情報やサービスなど、皆様のお役に立てるコンテンツを提供しております。ぜひ、ご覧ください。  
弊社のホームページアドレス：  
<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

# お使いになる前に

## 1. 安全上のご注意

本製品をお使いいただく方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただきたい事項について、いろいろな絵表示にて説明しております。

その表示と意味は次の通りです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵表示は次の通りです。

 記号は：「気をつけるべきこと」危険通告を意味しています。

 記号は：「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。

 記号は：「しなければならないこと」義務行為を意味しています。

### 警告

#### 電池について

液漏れ、発火、破裂の原因となり、けがややけどをする恐れがありますので、以下のことを必ずお守りください。

-  ・電池の分解、充電、加熱、ショートなどは絶対に行わないでください。
- ・ペンセットやペン先など金属製のもので電池の取り外しを行わないでください。

#### AC アダプタについて

火災、感電、故障の原因となりますので、以下のことを必ずお守りください。

-  ・指定された電圧 (100V) 以外の電圧、及び付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。
- ・タコ足配線はしないでください。
- ・コードやプラグなどを傷つけたり、加工しないでください。また、家具などの重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- ・コードが傷ついたときは、使用しないでください。
- ・濡れた手で AC アダプタ、電源プラグに触れないでください。
- ・プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、ゆるみのあるコンセントには差し込まないでください。
- ・AC アダプタを分解、改造しないでください。
- ・湿度の高い環境で使用しないでください。

#### 本体について

火災、感電、故障の原因となりますので、以下のことを必ずお守りください。

-  ・分解、改造しないでください。
- ・落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。
- ・コーヒーやジュースなどの飲み物、花瓶の水をかけるなど、水で濡らさないでください。
- ・異物が本機に入った状態で使用しないでください。
- ・濡れた手で製品に触れないでください。

**⚠警告**

- !** 内部の点検、調整、修理は、お買い上げの販売店、最寄りの弊社営業所または巻末記載のマックスサービスにご依頼ください。(お客様による分解、改造、落下により故障した場合は、保証期間内でも有償修理となります。)
- 万一、本機が破損したり、本機に水などの液体や異物が入った場合は、速やかに本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池をはずして、お買い上げの販売店、最寄りの弊社営業所または巻末記載のマックスサービスにご連絡ください。
- 使用中、保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形、その他今までと異なることに気がついたときは、ACアダプタをコンセントから抜き、電池をはずして、使用を中止してください。
- !** 袋をかぶらないでください。  
本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。

**⚠注意****電池について**

電池の取り扱い方を誤ると電池の液漏れや破裂の原因になりますので、以下のことを必ずお守りください。

- ⊘** 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。  
違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- !** 電池は+-の向きを正しくセットしてください。  
長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してから保管してください。

**ACアダプタについて**

- !** 長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずACアダプタを本機及びコンセントから抜いて保管してください。  
コンセントへの抜き差しは、ACアダプタ本体を持って行ってください。

**テープカッターについて**

- ⊘** テープカッターには直接手を触れないでください。けがをする危険があります。

**設置・保管場所について**

- ⊘** 本機をぐらついた台の上や高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下して、けがをする恐れがあります。
- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがをする恐れがあります。

**メモリについて**

- !** 本機の故障、修理、電池消耗などにより、メモリなどに保存されていたデータが消えることがあります。
- 本機およびパソコンに保存した内容は、永久的に保存できません。  
故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**テープについて**

- !** テープを貼り付ける場所や物の材質や環境条件などによっては、テープの色が変わる、剥れる、または、剥がした際に糊が残る、テープの色が移る、剥れない、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。貼り付ける場所や物の材質や使用目的を確認し、あらかじめ目立たない部分でテストしてからご使用ください。

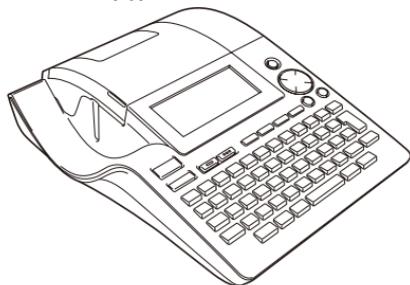
## 2. 使用上のご注意

- ・本書に記載されていない操作は行わないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- ・本機には、マックス純正の消耗品（レタリテープ）をご使用ください。
- ・テープを無理に引っ張りだしたり、押し込んだりしないでください。
- ・テープ出口や AC アダプタ差し込み口、USB ポートに物を入れたり、ふさいだりしないでください。
- ・使い終わったレタリテープのご使用やレタリテープをセットしないで印刷を行うことはおやめください。印刷ヘッドの故障の原因となります。
- ・印刷ヘッドは指などで触らないでください。
- ・電池交換の際は必ず電源を切ってください。
- ・電池を取り出したり、AC アダプタをはずして保管すると、メモリなど保存されていたデータが全て消えますのでご了承ください。
- ・本機のお手入れには、シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性の溶剤を使わないでください。
- ・直射日光の当たる場所、火器・暖房器具の近くなど温度の極端に高い場所や低い場所、湿気やほこりの多い場所での使用、保管は避けてください。使用温度範囲は、10°C～35°Cです。
- ・CD-ROM にキズをつけないように注意してください。また、CD-ROM を極端に高温、または低温の場所に置いたり、CD-ROM の上に重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。
- ・CD-ROM に収録されているソフトウェアは、本機を使用する目的に限り、一事業所内で複数のパソコンにインストールして使用することができます。
- ・付属ケーブル（USB）以外は使用しないでください。

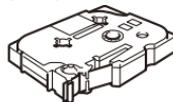
## 3. 付属品の確認

本製品を使用する前に以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

PM-2400 本体



レタリテープ×1巻



LM-L512BW :  
12mm 幅、白に黒文字、  
ラミネートテープ

CD-ROM



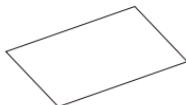
付属ケーブル（USB, 1.8m）



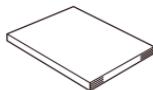
AC アダプタ



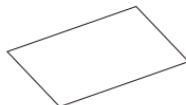
テープカタログ



取扱説明書

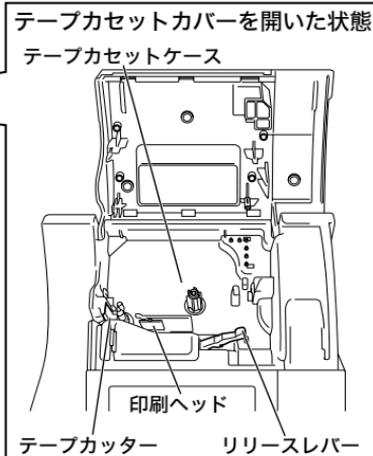
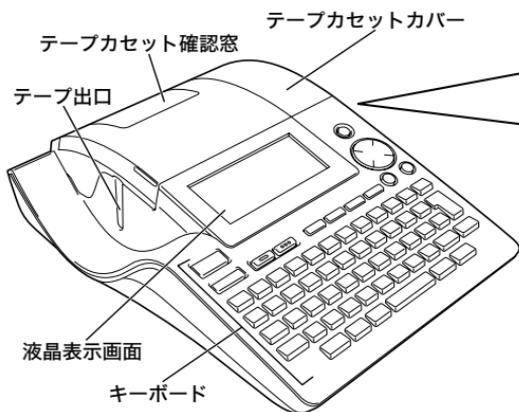


保証書兼お客様登録用紙

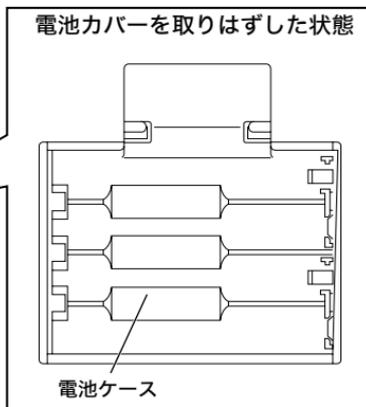
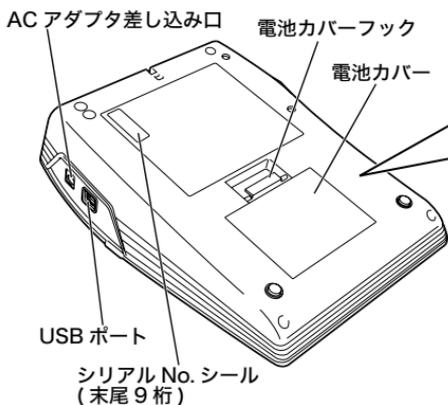


## 4. 各部の名前とはたらき

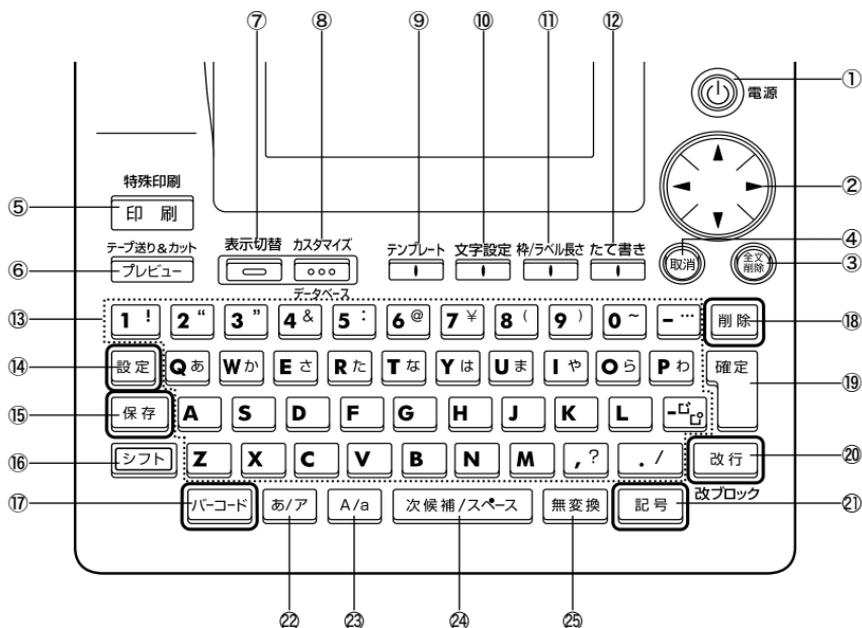
### ■ 本体各部の名前



出荷時には、傷防止のため、液晶表示パネルとテープカセットカバーに透明保護シートが貼ってあります。ご使用前に保護シートをはがしてください。



## ■ キーボードの名前とはたらき



- ① 電源の入 / 切をします。
- ② 文字の入力や削除をするためにカーソルを移動します。また、漢字変換時やイラスト、文字設定 / 機能設定時の候補を選択します。
- ③ 入力した全ての文字または、入力した文字および文字設定や枠囲みなどを削除します。
- ④ 設定操作を取り消して、入力画面または1つ前のステップに戻ります。
- ⑤ 特殊印刷  
印刷  
入力した文字をテープに印刷します。  
 を押しながら を押し、「コピー印刷」「連番印刷」「ミラー印刷」などの特殊印刷を設定できます。
- ⑥ テープ送り&カット  
プレビュー  
印刷イメージを表示します。  
 を押しながら を押し、テープを23mm程度空送りし、自動的にカットします。
- ⑦ 表示切替  
液晶表示画面の表示形式を「ガイダンス+2行」→「ガイダンスなし3行」→「ガイダンス+1行（1行の表示文字サイズが2行分）」の順で切り替えます。
- ⑧ カスタマイズ  
データベース  
本体に転送されたパソコンで作成したオリジナルのテンプレートやロゴを使ってラベルを作成します。  
 を押しながら を押し、本体に転送されたパソコンで作成したデータベースを使ってラベル作成ができます。

⑨ **テンプレート**

「用途別」「フリー」「ケーブルマーキング」のテンプレートを使用してラベルを作成します。

⑩ **文字設定**

「書体」「文字サイズ」「文字装飾」「字揃え」「文字幅」「文字間」「下線」を設定します。

⑪ **格/ラベル長さ**

「枠」「ラベル長」「カット形式」「長さ補正」を設定します。

⑫ **たて書き**

縦書きの設定をします。

⑬ **1!** ~ **. /**

文字や数字を入力します。

⑭ **設定**

「入力方式切替」「画面の濃さ」「自動サイズ縮小優先」「お気に入り設定」「バーコード設定」「特殊テープ」を設定します。「バーコード入力」でバーコードの入力や、「バージョン情報」の表示もできます。

⑮ **保存**

メモリ内の文章の「印刷」「呼出」「削除」や入力した文章の「保存」ができます。

⑯ **シフト**

文字キーの紫色で刻印されている文字を入力するときに使用します。**シフト**を押しながら文字キーを押します。

**シフト**を押しながら<sup>特殊印刷</sup>**印刷**を押して「特殊印刷」の設定、<sup>テープ送り&カット</sup>**印刷**を押して「テープ送り&カット」の操作が、<sup>カスタマイズ</sup>**印刷**を押して「データベース」の操作、などができます。

⑰ **バーコード**

バーコードラベルを作成するときに、値を入力する画面を表示します。

⑱ **削除**

カーソルの前（左側）の文字を削除します。

⑲ **反転**

反転表示中の文字、漢字変換候補やイラスト、文字設定/機能設定時に表示されている設定項目を確定します。

⑳ **改行**

改ブロック

改行します。

**シフト**を押しながら<sup>改行</sup>**改行**を押すと、改ブロックします。

㉑ **記号**

記号やイラストを入力するときに、選択メニューを呼び出します。

㉒ **あ/ア**

ひらがな入力とカタカナ入力のモードを切り替えます。

反転表示中の文字をひらがな/カタカナの交互に切り替えることもできます。

㉓ **A/a**

アルファベットの大文字入力と小文字入力のモードを切り替えます。

反転表示中の文字をアルファベットの大文字→小文字→先頭のみ大文字の順で切り替えることもできます。(アルファベット変換)

㉔ **次候補/スペース**

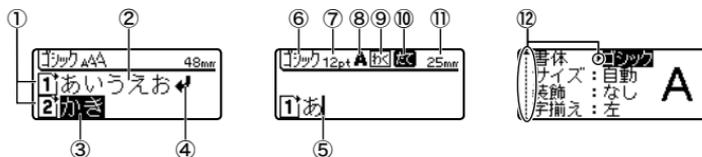
反転表示中のひらがなの漢字変換候補を表示します。

反転表示中の文字がないときは、スペースを入力します。

㉕ **無変換**

ひらがな入力時で漢字変換候補が表示されているときに、ひらがなのまま変換しないで文字を確定します。

## ■ 画面の見方



### ① 行頭マーク

1 行目の行頭に「1」、2 行目の行頭に「2」のように何行目の行頭かを表示します。

### ② 通常表示

入力が確定した文字です。通常表示の文字だけ印刷することができます。

### ③ 反転表示

仮確定の文字です。反転表示のときだけ、ひらがな／カタカナ、アルファベットの大字／小文字、漢字を変換できます。

反転表示の文字は印刷できません。  または  を押して確定してください。

### ④ 改行マーク

改行すると表示されます。

### ⑤ カーソル

この位置の前（左側）に文字が入力、および削除されます。

### ⑥～⑪ 設定ガイダンス：

⑥書体、⑦文字サイズ、⑧文字装飾、⑨枠、⑩縦書きを表示します。

### ⑪ ラベル長

印刷されるラベル長さがどれくらいになるか表示します。

### ⑫ カーソル選択マーク

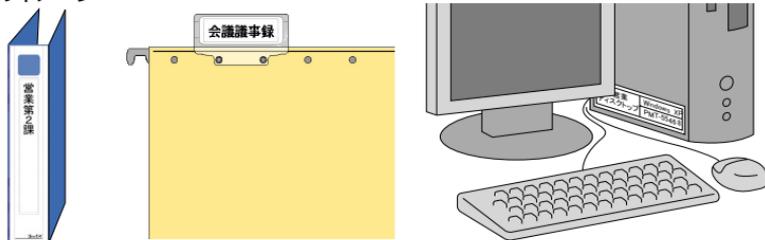
カーソルキーを使って変換候補や設定項目を選択できることを示すマークです。漢字変換、文字設定、イラスト、機能設定時などに表示されます。←、→、↑、↓の示す方向の  を押します。

## 5. ラベル作成の流れ

本機でラベルを作成する一般的な手順は、次のようになります。

### 1 作成したいラベルの種類を決定します。

ラベルのイメージ



### 2 用途に合った幅・種類のレタリテープを準備します。

ラベルのイメージに適した  
レタリテープを準備



→ テープカタログ

レタリテープをセット



→ P.16

### 3 ラベルを作成して印刷します。

本機のみで作成



→ P.19

パソコンを活用して作成



→ P.82

お使い前に

本体準備

入力・編集

試しに作る

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

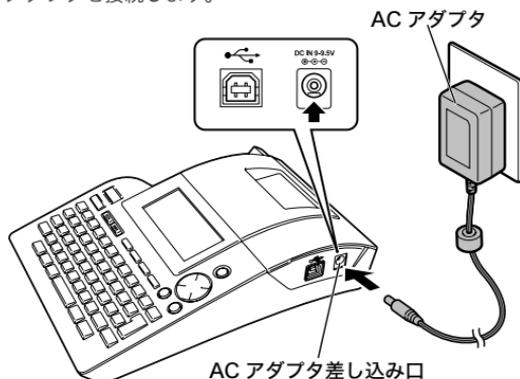
付録

# 本体を準備する

## 1. 電源を準備する

### ■ AC アダプタを本機に接続する

本機の保存機能は、電池をセットしているときのみ有効です。(→P.49)  
本機に付属の AC アダプタを接続します。



**1** AC アダプタのコネクタを本機の AC アダプタ差し込み口にしっかりと差し込みます。

**2** AC アダプタのプラグを家庭用コンセントに差し込みます。

- 本体の電源を切ってから、AC アダプタの抜き差しを行ってください。
- 長期間使用しない場合は、AC アダプタを本機および家庭用コンセントから抜いて保管してください。
- AC アダプタのコードを強く引っ張ったり、繰り返して折り曲げたりしないでください。断線することがあります。
- 本機専用 AC アダプタ以外の AC アダプタは使用しないでください。故障や破損の原因となります。本機専用でない AC アダプタを使用したために発生した本機や AC アダプタの故障や破損は保証できません。
- 本機専用 AC アダプタは家庭用コンセント (AC100V) 以外には、差し込まないでください。故障や破損の原因となります。誤った AC アダプタの使い方によって発生した本機や AC アダプタの故障や破損は保証できません。
- 入力した文章やメモリなどのデータを保存しておくため、AC アダプタをご使用になるときも電池を正しくセットしておいてください。

## ■電池をセットする

**本機の保存機能は、電池をセットしているときのみ有効です。(→P.49)**

本体の電源が入っているときは、電源を切ってから電池交換を行ってください。

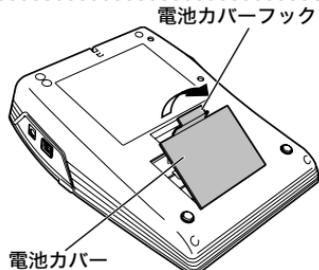
電池は同梱しておりません。市販品の単3形アルカリ乾電池（8本）をご購入ください。

### 1 電池カバーを開けます。

本体を裏返して、電池カバーフックに指をあてて電池カバーを開けます。

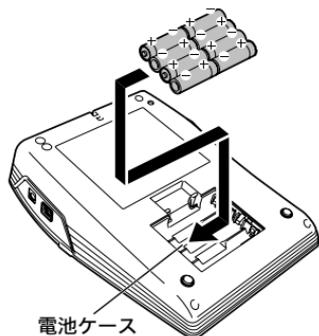


使用済みの電池が入っている場合は、全て取り出してください。



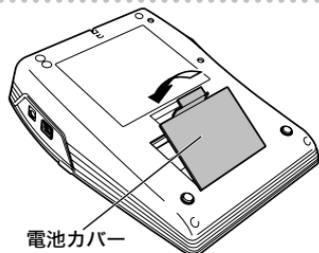
### 2 電池をセットします。

単3形アルカリ乾電池（8本）をケース内の刻印指示に従って＋の向きに注意してセットします。



### 3 電池カバーを閉めます。

電池カバー下部のフックを本体のミゾに合わせて、電池カバーを閉めます。



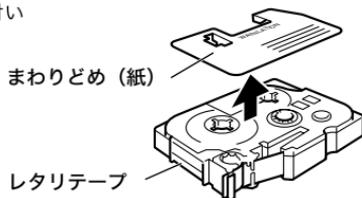
- 印刷中や操作中に突然電源が切れて、再び電源を ON したときに「電池残量が少なくなりました。」または「電池を交換してください。」と表示された場合は、電池が消耗しています。ただちに全ての電池を新品の単3形アルカリ乾電池（8本）と交換してください。（「電池残量が少なくなりました。」または「電池を交換してください。」の状態のときに保存した文章は記憶されています。）
- 電池を抜いて5分以上放置しておくと、入力した文章やメモリ登録した文章が消えてしまいます。電池の交換は5分以内に手早く行ってください。
- 常温の環境下でのご使用であれば、新品の単3形アルカリ乾電池（8本）で、24mm幅レタリテープ1本以上印刷できます。ただし、大きな文字ばかり連続して印刷したり、温度の低いところで使用すると、電池が早く消耗します。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、電池を取り出して保管してください。
- 使用済み電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

## 2. レタリテープをセットする

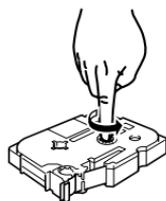
弊社純正の6mm、9mm、12mm、18mm、24mm幅のレタリテープが使用できます。



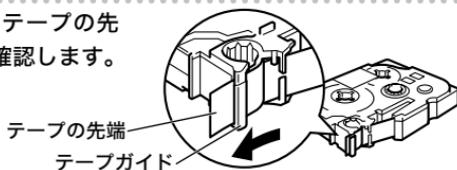
- レタリテープに右図のようなまわりどめ（紙）が付いている場合は、あらかじめはずしておきます。



- 巻き取りスプールを指で矢印方向へ1～2回巻き、リボンのたるみをとります。



- 1 テープの先端が曲がっていないこと、テープの先端がテープガイドを通っていることを確認します。

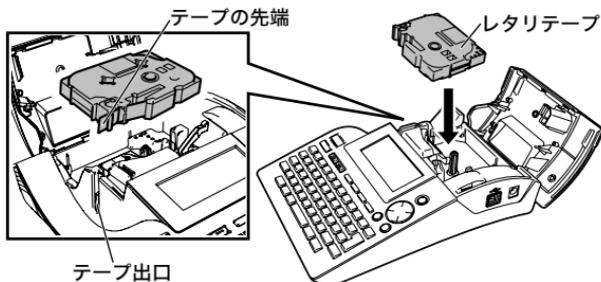


- 2 本体の電源を切ってから、テープカセットカバーの両側にあるつまみに指をあてて、テープカセットカバーを開けます。



- 3** 本体のテープ出口にテープの先端が向くようにレタリテープの向きを確認して、カチッと音が出るまでしっかりとセットします。

印刷ヘッドにテープやインクリボンを引っかけないように注意してください。



- 4** カチッと音が出るまでしっかりとテープカセットカバーを閉めます。

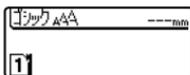
テープカセットカバー



- テープカセットカバーを閉める前に、リリースレバーを押し下げるとカバーが閉まりません。リリースレバーは飛び出した状態でカバーを閉めてください。
- レタリテープをセットしたら、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。(→P. 18)
- テープは、手で無理に引き出さないでください。インクリボン飛び出しなど故障の原因になります。また、引き出したテープは戻すことはできません。
- レタリテープは、直射日光・高温多湿・ほこりを避けて、冷暗所で保管してください。また、開封後は、できるだけ早めにお使いください。

## 3. 電源を入れる

Ⓞを押すと電源が入ります。もう一度Ⓞを押すと電源が切れます。



- 本機を電池で使用しているときは、電源が入ったまま5分以上何も操作されないと電池の消耗を防ぐために自動的に電源がきれます(オートパワーオフ機能)。ACアダプタで使用しているとき、パソコンを接続しているときは、60分以上操作されないとオートパワーオフ機能が働きます。
- 再度、電源を入れるとオートパワーオフ直前のテキスト入力画面に戻ります。
- 文字を入力した状態で電源を切り、再度電源を入れると、電源を切る前の状態に戻ります。入力した文字が未確定文字の場合は、電源を切ると消去されます。

## 4. テープ送りをする

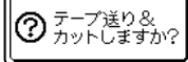
テープを約 23mm 程度空送りします。レタリテープをセットしたときは、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。



たるみのある状態で、印刷を行うとテープづまりなどが生じる場合があります。

**1**  を押しながら  を押します。

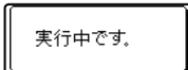
「テープ送り&カットしますか？」と確認メッセージが表示されます。



**2**  を押します。

テープ送りを行います。

「実行中です。」のメッセージが消えて、自動的にテープがカットされます。



- テープ送りをやめるときは、「テープ送り&カットしますか？」の確認メッセージが表示されているときに、 を押します。
- 特殊テープを使用するときは、テープがカットされません。詳細は、「特殊テープを使用する」(→P.67)を参照してください。

# 試しに作ってみる

具体的なラベルを作成して、ラベル作成の手順を簡単に説明します。

## 1. ファイルラベル（横書き）を作る

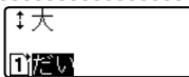
例

第50期 春のキャンペーン

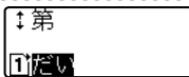
12mmのレタリテープを使って、一般的なファイルラベルを作成します。  
文字の入力方法や編集方法、ラベルを目的のサイズに仕上げる設定などを試してみてください。

1 **D** **A** **I**やを押します。

「だい」が反転表示され、「大」という漢字の変換候補が画面上段に表示されます。

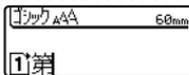


2 **次候補/スペース** または **⏪** の上下キーを押して候補を切り替え、「第」を表示させます。



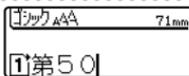
3 **確定** を押します。

「第」が確定されます。



4 **5** **0** と押します。

「50」が入力されます。



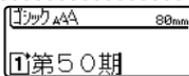
5 **K** **I**や と押します。

「き」が反転表示され、「期」という漢字の変換候補が画面上段に表示されます。



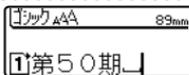
6 **確定** を押します。

「期」が確定されます。



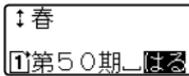
7 **次候補/スペース** を押します。

スペースが入力されます。



8 **H** **A** **R** **U** と押します。

「はる」が反転表示され、「春」という漢字の変換候補が画面上段に表示されます。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

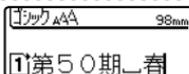
カスタマイズ

メンテナンス

付録

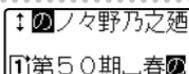
9 を押します。

「春」が確定されます。



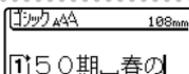
10 **N** と押します。

「の」が反転表示され、漢字の変換候補が画面上段に表示されます。



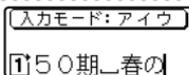
11 または を押します。

「の」が確定されます。



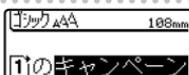
12 カタカナを入力するために、を押します。

「入力モード：アイウ」と表示され、入力画面に戻ります。



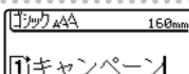
13 **K** **Y** **A** **N** **N** **P** **わ** **E** **さ** **N** **N**と押します。

「キャンペーン」が反転表示されます。



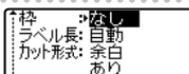
14 または を押します。

「キャンペーン」が確定されます。

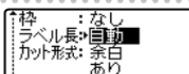


15 ラベルの長さとしり方を設定するために、を押します。

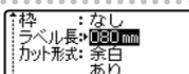
枠 / ラベル長さ設定メニューが表示されます。



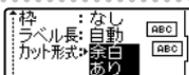
16 の上下キーを押して、「ラベル長」を選択します。



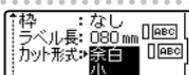
17 の左右キーをまたは数字キーを押して、「ラベル長」を「80mm」に設定します。



18 の上下キーを押して、「カット形式」を選択します。

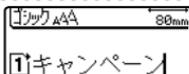


19 の左右キーを押して、「カット形式」を「余白小」に設定します。



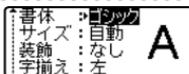
20 を押します。

ラベルの長さとしり方が設定され、入力画面に戻ります。

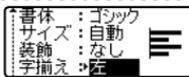


21 ラベルの中心に文字を配置するために、を押します。

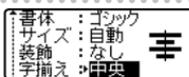
文字設定メニューが表示されます。



22 の上下キーを押して、「字揃え」を選択します。

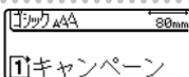


23 の左右キーを押して、「字揃え」を「中央」に設定します。



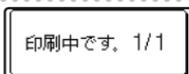
24 を押します。

字揃えが設定され、入力画面に戻ります。  
これでラベルデータの作成は完了です。



25 を押します。

「印刷準備中です。」 → 「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

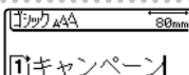
## 2. ファイルラベル（縦書き）を作る

例

第50期 春のキャンペーン

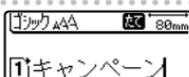
24mm のレタリテープを使って、一般的なファイルラベルを作成します。  
文字の入力方法や編集方法、ラベルを目的のサイズに仕上げる設定などを試してみてください。

- 1 「1. ファイルラベル（横書き）を作る」（→P.19）を参照して、同じ手順でラベルデータを作成します。



- 2 縦書きにするために、**たて書き**を押します。

縦書きに設定され、設定ガイダンスに「**たて**」が表示されます。

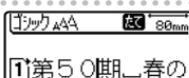


縦書き設定は、これで完了です。**印刷**を押せば、本機からラベルが印刷されます。

第50期 春のキャンペーン

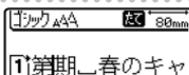
本機には、見栄えの良い縦書きラベルを作成するために、2桁数字の記号が用意されています。ここでは、引き続き2桁数字の記号を使う手順について説明します。

- 3 **左右**の左右キーを押して、削除したい文字「50」の後ろにカーソルを移動します。



- 4 **削除**を2回押します。

「50」が削除されます。



- 5 **記号**を押します。

記号メニューが表示されます。  
グループ別に記号やイラストが表示されています。



- 6 **上下**の上下キーを押して、「2桁数字」を選択します。

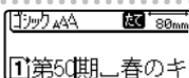


- 7 **左右**の左右キーを押して、「50」を選択します。



- 8 **確定**を押します。

「50」が入力されます。  
これでラベルデータの作成は完了です。



## 9 特殊印刷 を押します。

「印刷準備中です。」 → 「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。

印刷中です。 1/1

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

### 3. ケーブルマーキングラベルを作る

例

本田デスクトップ-Hub

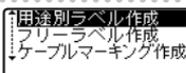
本田デスクトップ-Hub

12mm レタリテープ（巻きつけタイプ）を使って、LAN 配線などのマーキングラベルを作ります。本機に内蔵されているテンプレートを使うと、簡単にケーブルマーキングが作成できます。

🔊 ケーブルマーキングラベルを作るときは、巻きつけタイプのレタリテープをお使いください。通常タイプのレタリテープでは剥がれる場合があります。

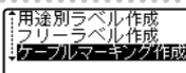
1 を押します。

テンプレートメニューが表示されます。



2 の上下キーを押して、「ケーブルマーキング作成」を選択し、 を押します。

テープ幅選択画面が表示されます。



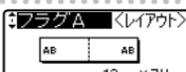
3 の上下キーを押して、「12mm」を選択し、 を押します。

テンプレート候補選択画面が表示されます。

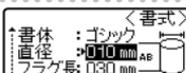


4 の上下キーを押して、「フラグ A」を選択し、 を押します。

書式設定画面が表示されます。

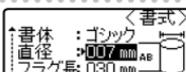


5 の上下キーを押して、「直径」を選択します。



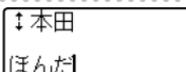
6 の左右キーを押して、「007 mm」に設定し、 を押します。

「1タイトル」の入力画面が表示されます。



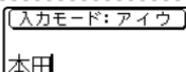
7 と押して、 を押します。

「本田」が確定されます。



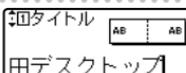
8 を押します。

入力モードが「カタカナ」に変更されます。



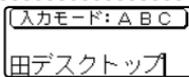
9 と押します。

「デスクトップ」が直接入力されます。



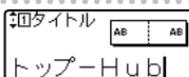
10 **A/a** を押します。

入力モードが「アルファベットの大文字」に変更されます。



11 **シフト** **H** と押して、**シフト** を押しなが**ら** **U** **ま** **B** と押します。

「-Hub」が直接入力されます。

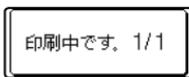
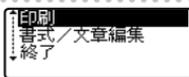


12 **確定** を押します。

メニュー選択画面が表示されます。

13 **印刷** の上下キーを押して、「印刷」を選択し、**確定** を押します。

「印刷準備中です。」 → 「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。

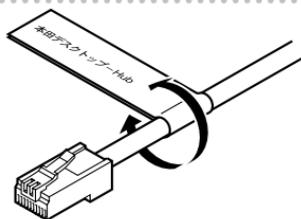


14 ラベルをケーブルに貼り付けます。

右図のように、ケーブルにマーキングすることができず。



裏面の台紙の半分を残して貼りあわせると、きれいに貼れます。



# 文字を入力・編集する

## 1. 入力方式 (ローマ字入力 / かなめくり入力) を選択する

本機の日本語文字の入力方式は、「ローマ字入力」と「かなめくり入力」の2種類があります。

### ・ローマ字入力

日本語文字を入力するときに、キー上にかかれた「アルファベット」を押して文字の読みを「ローマ字」で入力する方法

ローマ字の入力方法は、「ローマ字変換一覧」(→P.124)を参照してください。

### ・かなめくり入力

日本語文字を入力するときに、キー上にかかれた「かな」を押して文字の読みを「かな」で入力する方法

1つのキーに複数の文字が割り当てられているロータリー入力方式のため、同じキーを繰り返し押して、目的の文字を表示させて入力します。

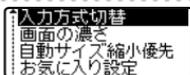
例えば、**Qあ**の場合は、「あ」→「い」・・・→「え」→「お」→「あ」・・・と順に切り替わります。

次の方法で入力方式を切り替えます。「ローマ字入力」が、初期設定値になります。

### 1 **設定**を押します。

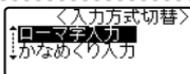
設定メニューが表示されます。

### 2 **時計**の上下キーを押して、「入力方式切替」を選択し、**決定**を押します。



### 3 **時計**の上下キーを押して、入力方式を選択し、**決定**を押します。

入力方式が確定されます。



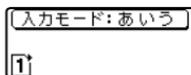
- ・入力方式の設定を途中でやめるときは、**取消**を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- ・入力方式の設定時に、**次候補/スペース**を押すと初期設定値 (ローマ字入力) に戻ります。

## 2. 入力モード (ひらがな / カタカナ、大文字 / 小文字) を選択する

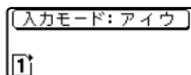
### ■ ひらがな / カタカナの切替

**あ/ア** を押すごとに、「ひらがな」と「カタカナ」の入力モードを切り替えます。

(約 1 秒間、下記の画面が表示されて、入力モードが切り替わります。)



ひらがな入力モード

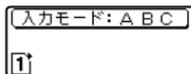


カタカナ入力モード

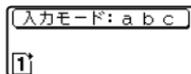
### ■ アルファベットの大文字 / 小文字の切替

**A/a** を押すごとに、アルファベットの「大文字」と「小文字」の入力モードを切り替えます。

(約 1 秒間、下記の画面が表示されて、入力モードが切り替わります。)



アルファベットの大文字入力モード



アルファベットの  
小文字入力モード

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 3. ひらがな / カタカナを入力する

 レタリテープをセットした状態で文字を入力すると、セットされているテープ幅に合わせて、印刷されるラベル長さを画面右上に表示します。

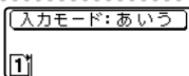
### ■ ローマ字入力するとき

#### 例 「うさぎクラブ」

ローマ字入力で、ひらがなやカタカナを入力する方法について説明します。

#### 1 を押します。

入力モードがひらがなになっていることを確認します。  
ひらがな入力モードの場合、「入力モード：あいう」が表示され、入力画面に戻ります。



#### 2 と押します。

「うさぎ」が反転表示されます。

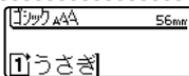
 反転表示中は、 を押すとひらがなとカタカナを交互に切り替えることができます。



#### 3 を押します。

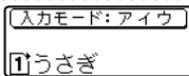
「うさぎ」が確定されます。

 ・候補が表示されているときに  を押すと、ひらがなのまま確定できます。  
・ の上下キーを押してひらがなの候補「うさぎ」を選択して、 を押しても確定できます。



#### 4 を押します。

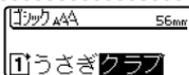
入力モードをカタカナにします。  
カタカナ入力モードの場合、「入力モード：アイウ」が表示され、入力画面に戻ります。



#### 5 と押します。

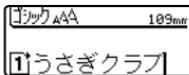
「クラブ」が反転表示されます。

 ・ひらがな入力モードで文字入力後、反転表示中に  でカタカナに変換できます。  
・反転表示中は、 を押すとひらがなとカタカナを交互に切り替えることができます。



#### 6 を押します。

「クラブ」が確定されます。



 ・ひらがな入力モードで文字入力後、変換候補からカタカナを選択することもできます。  
・反転表示されている間に、入力の間違いに気づいたときは、削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、 を押します。カーソルの1つ前の文字を削除することができます。  
・反転表示されている未確定文字は、25文字まで入力できます。  
・確定した後、入力した文字を削除するときは、「文字を削除する」(→P.38)を参照してください。

## ■ かなめくり入力するとき

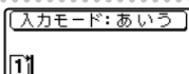
### 同じ行の文字を続けて入力する

**例** 「やよい」

かなめくり入力で、「やよ」のように同じ行の文字を続けて入力する方法を説明します。

#### 1 **あ/ア**を押します。

入力モードがひらがなになっていることを確認します。  
ひらがな入力モードの場合、「入力モード：あいう」が表示され、入力画面に戻ります。



#### 2 **1**を押します。

「や」が反転表示されます。



#### 3 **⌚**の右キーを押して、**1**を押して3回を押します。

「やよ」が反転表示されます。



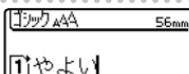
#### 4 **Qあ**を2回押します。

「やよい」が反転表示されます。



#### 5 **無変換**を押します。

「やよい」が確定されます。



- 候補が表示されているときに**無変換**を押すと、ひらがなのまま確定できます。
- ⌚**の上下キーを押してひらがなの候補「やよい」を選択して、**確定**を押しても確定できます。

**💡** 反転表示されている未確定文字は、ローマ字入力 25 文字、かなめくり入力 22 文字まで入力できます。また、確定文字は最大 186 文字まで入力できます。

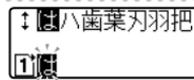
## かなめくり入力で、濁音・半濁音・長音を入力する

**例** 「ぱー」

かなめくり入力で、濁音や半濁音、長音を入力する方法を説明します。

**1** 入力モードがひらがなの状態で、**Yは**を押します。

「は」が反転表示されます。



**2** **ㇿ**を2回押します。

「ぱ」が反転表示されます。



**3** **⌚**の右キーを押して、**ㇿ**を押します。

「ぱー」が反転表示されます。



**4** **無変換**を押します。

「ぱー」が確定されます。



- 候補が表示されているときに**無変換**を押すと、ひらがなのまま確定できます。
- ⌚**の上下キーを押して、ひらがなの候補「ぱー」を選択して、**確定**を押しても確定できます。

## かなめくり入力で、日本語の小文字を入力する

**例** 「よ」

かなめくり入力で、日本語の小文字を入力する方法を説明します。

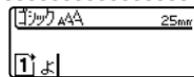
**1** 入力モードがひらがなの状態で、**Iや**を6回押します。

「よ」が反転表示されます。



**2** **無変換**を押します。

「よ」が確定されます。



- 候補が表示されているときに**無変換**を押すと、ひらがなのまま確定できます。
- ⌚**の上下キーを押してひらがなの候補「よ」を選択して、**確定**を押しても確定できます。

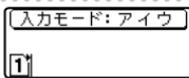
## かなめくり入力、カタカナを入力する

例 「ア」

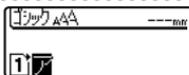
かなめくり入力、カタカナを入力する方法を説明します。

1 を押します。

入力モードがカタカナになっていることを確認します。  
 ひらがな入力モードの場合、「入力モード：アイウ」が表示され、入力画面に戻ります。

2 を押します。

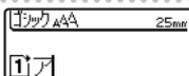
「ア」が反転表示されます。



反転表示中は、を押すとひらがなとカタカナを交互に切り替えることができます。

3 を押します。

「ア」が確定されます。



- ひらがな入力モードで文字入力後、反転表示中にでカタカナに変換できます。
- ひらがな入力モードで文字入力後、変換候補からカタカナを選択することもできます。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 4. 漢字を入力する

この例では、読みの入力方式をローマ字入力で説明しています。漢字の変換方法についてはかなめくり入力の場合も同じです。

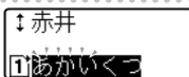
### ■ 読みをひらがなで入力して変換する

#### 例 「赤い靴」

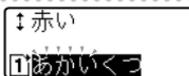
漢字の「読み」をひらがなで入力し、**次候補/スペース**を使って漢字に変換します。文節を検索して熟語変換しますので、文章を入力して、漢字に変換することができます。一度に入力して変換できる未確定文字数は25文字までです。

#### 1 ひらがな入力モードの状態で「あかいくつ」と入力します。

「あかいくつ」が反転表示され、「あかい」という読みの候補が画面上段に表示されます。



#### 2 **次候補/スペース** または **⇄** の上下キーを押して候補を切り替え、「赤い」を表示させます。



#### 3 **確定** を押します。

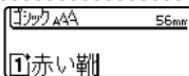
「赤い」が確定され、「くつ」の漢字候補が画面上段に表示されます。



#### 4 **次候補/スペース** または **⇄** の上下キーを押して候補を切り替え、「靴」を表示させます。

#### 5 **確定** を押します。

「靴」が確定されます。



- 一度確定したひらがなや漢字は変換できません。
- 漢字変換を途中でやめるときは、**取消**を押してください。
- 同じ読みで単文節と単漢字の候補があるときは、単文節→単漢字→単文節…の順に切り替わります。
- 確定した漢字候補を優先的に表示する「学習機能」がっています。
- カタカナ入力モードでは、変換できません。

### ■ 読みの長さを変えて変換する

#### 例 「山田花子」

文節を検索して熟語変換されるため、希望の読みの長さとは違う漢字に変換されることがあります。その場合は、**シフト**と**⇄**を使って、漢字の読みの長さを変えて変換（読み短縮機能）ができます。

#### 1 ひらがな入力モードの状態で「やまだはなこ」と入力します。

「やまだはなこ」が反転表示され、「やまだは」という読みの候補が画面上段に表示されます。



**2**  を押しながら、 の左キーを押します。

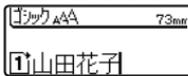
変換される漢字の読みの長さが短くなり、「やまだ」という読みの候補が上段に表示されます。

**3**  または  の上下キーを押して候補を切り替え、「山田」を表示させます。**4**  を押します。

「山田」が確定され、「はなこ」の漢字候補が画面上段に表示されます。

**5**  または  の上下キーを押して候補を切り替え、「花子」を表示させます。**6**  を押します。

「花子」が確定されます。



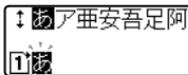
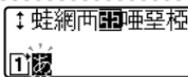
 変換する漢字の読みの長さを変更するときは、 を押しながら、 の左右キーを押します。  
 + 左キーを押すと読みの長さが短くなり、 + 右キーを押すと読みの長さが長くなります。

**■ 当て字や難しい固有名詞を変換する****例** 「亞」

熟語変換で候補が出てこない当て字や難しい固有名詞などは、最初から1文字ずつ単漢字変換するか、前ページの読み短縮機能を使って単漢字まで読みを短縮して変換してみてください。

**1** ひらがな入力モードの状態で「あ」と入力します。

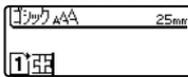
「あ」が反転表示され、「あ」という読みの候補が画面上段に表示されます。

**2**  または  の上下キーを押して候補を切り替え、「亞」を表示させます。

 単漢字の場合は、漢字候補は7個ずつ表示され、選択候補が反転表示になります。  
 •  または  の上下キーを押すと、1個ずつ候補が移動します。  
 •  を押しながら、 の上下キーを押すと、変換候補の前ページ/次ページを表示します。

**3**  を押します。

「亞」が確定されます。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 5. アルファベットを入力する

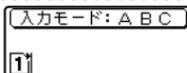
### ■ 大文字と小文字を切り替えながら入力する

**例** 「Sale」

**シフト**を使って、アルファベットの太文字と小文字を切り替えながら入力する方法を説明します。

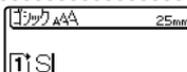
**1** **A/a**を押します。

アルファベットの太文字入力モードになっていることを確認します。  
アルファベットの太文字入力モードの場合、「入力モード：ABC」が表示され、入力画面に戻ります。



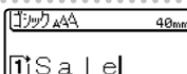
**2** **S**を押します。

「S」が直接入力されます。



**3** **シフト**を押しながら、**A** **L** **E**を押します。

「ale」が直接入力されます。



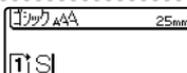
- アルファベットは直接入力されて、通常表示になります。入力の間違いに気づいたときは、削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、**削除**を押します。カーソルの1つ前の文字を削除することができます。
- アルファベットの太文字入力モードで、**シフト**を押しながら、アルファベットキーを押すと、太文字が入力されます。

### 大文字と小文字の入力モードを切り替えながら入力する

アルファベットの太文字と小文字の入力モードを切り替えながら入力する方法を説明します。

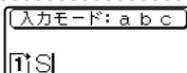
**1** アルファベットの太文字入力モードの状態、**S**を押します。

「S」が確定されます。



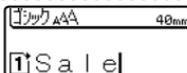
**2** **A/a**を押します。

アルファベットの太文字入力モードに切り替わります。  
アルファベットの太文字入力モードの場合、「入力モード：abc」が表示され、入力画面に戻ります。



**3** **A** **L** **E**を押します。

「ale」が直接入力されます。



- アルファベットの太文字入力モードの状態、**シフト**を押しながら文字を入力すると、太文字が直接入力できます。  
逆に、アルファベットの太文字入力モードの状態のときは、太文字が直接入力できます。

## ■ ひらがな/カタカナを入力したあとで、アルファベットに変換する

入力方式がローマ字入力の場合は、ひらがな/カタカナを入力したあとで、アルファベットに変換できます。

### 1 ひらがな入力モードの状態では、**S** **A** **L** **E** を押します。

「さえ」が反転表示され、「さえ」という読みの候補が画面上段に表示されます。



### 2 **A/a** を 3 回押し、「Sale」を表示させます。



**A/a** を押すごとに、「ABC (すべて大文字)」→「abc (すべて小文字)」→「Abc (先頭のみ小文字)」の順に切り替わります。



### 3 **確定** を押します。

「Sale」が確定されます。

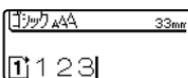


## 6. 数字を入力する

入力モードに関係なく、数字キーを押すと、直接数字が入力されます。



反転表示中の文字があるときは、数字も未確定文字として入力されます。

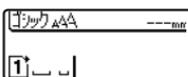


## 7. スペースを入力する

反転表示中のひらがな、カタカナがないことを確認して、**次候補/スペース** を押します。



- ひらがな/カタカナ入力モードのときは、「全角のスペース (　)」アルファベット入力モードのときは、「半角のスペース ( )」が入力されます。
- 画面上は「 /  **)**」と表示されますが、印刷すると空白になります。
- 全角のスペースは約 1 文字分の空白、半角のスペースは約半分文字分の空白となります。
- ひらがな/カタカナ入力モードのときに、**シフト** を押しながら、**次候補/スペース** を押すと、半角のスペースを入力することができます。また、アルファベット入力モードのときに、**シフト** を押しながら、**次候補/スペース** を押すと、全角のスペースを入力することができます。



## 8. 記号やイラストを入力する

記号を入力する方法には、キーボード上に刻印されている記号を直接入力する方法と、記号やイラストのメニューを呼び出して入力する方法があります。

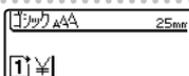
### ■ キーボード上の記号を入力する

**例** 「¥」

キーボード上に刻印されている記号を直接入力できます。

**1** **[シフト]**を押しながら、**[7 ¥]**を押します。

「¥」が確定されます。



**💡** 反転表示中の文字があるときは、記号も未確定文字として入力されます。



### ■ キーボードにない記号やイラストを入力する

**例**

横書きの場合

62

縦書きの場合

62

記号メニューから記号やイラストを入力できます。

**1** **[記号]**を押します。

記号メニューが表示されます。

グループ別に記号やイラストが表示されています。



**💡** 前回入力した記号がある場合は、「お気に入り」グループが表示され、以前選択した記号が表示されます。詳細は、「記号のお気に入り設定を使用する」(→P.37)を参照してください。

**2** **[上下]**の上下キーを押して、グループを選択します。



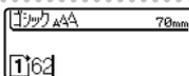
**3** **[左右]**の左右キーを押して、「62」を選択します。

画面の中央に拡大表示されている記号やイラストが選択可能な記号やイラストです。



**4** **[確定]**を押します。

「62」が確定されます。



**!** リサイクルマーク(プラ、紙、アルミ、スチール)は、法律で定められた範囲内で、マークがかすれたり、つぶれたりしない程度の文字サイズで使用してください。小さいサイズで印刷するとマークがかすれたり、つぶれたりする可能性があります。



- ・内蔵記号は、「記号一覧」(→P.122)を参照してください。
- ・記号選択時に、**次候補/スペース**を押すと、初期設定値(記述カテゴリー)に戻ります。
- ・記号の入力を途中でやめるときは、**取消**を押します。

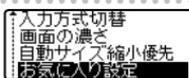
## ■ 記号のお気に入り設定を使用する

お気に入り設定を使用すると、記号メニュー内に「お気に入り」というグループを新しく作成して、一度入力したイラストを登録することができます。「お気に入り」のグループが最初に表示されるため、よく使う記号やイラストがある場合に、目的のイラストを素早く入力できます。

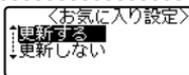
### 1 **設定**を押します。

設定メニューが表示されます。

### 2 の上下キーを押して、「お気に入り設定」を選択して、**確定**を押します。

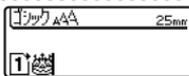


### 3 の上下キーを押して、「更新する」を選択して、**確定**を押します。



### 4 記号メニューからお気に入りに登録したいイラストを入力します。

詳細は、「キーボードにない記号やイラストを入力する」(→P.36)を参照してください。



### 5 **記号**を押します。

イラストメニューが表示されます。「お気に入り」のカテゴリーが最初に表示され、手順4で入力した記号が登録されています。



- ・「お気に入り」に記憶される記号は、記号を選択たびに更新されます。
- ・「お気に入り」に記憶できる記号やイラストは、最大20個です。
- ・20個を超えると、古いものから順に削除されます。
- ・「お気に入り」に記憶させた記号やイラストは、電源を切っても記憶されています。(電池をセットしている場合のみ)
- ・お気に入りの登録記号を固定したい場合
  - ①前ページに従って、登録したい記号を入力します。
  - ②上記手順に従って、<お気に入り設定>を「更新しない」に設定します。

## 9. カーソルの使い方

画面上で点滅表示している縦線「|」をカーソルといい、文字を入力、削除する位置を示します。

カーソルを移動するには、カーソルキーの上下左右キーを使います。

画面は最大7文字×3行まで表示しますが、それ以上の文字を入力すると、画面から外れて見えなくなります。隠れた文字を見るときもカーソルキーを使って、カーソルを移動します。

- ・左キーを1回押す : 左方向へ1文字移動します。
- ・右キーを1回押す : 右方向へ1文字移動します。
- ・上キーを1回押す : 前(上)の行へ1行移動します。
- ・下キーを1回押す : 次(下)の行へ1行移動します。
- ・を押しながら左キーを押す : 行頭へジャンプします。
- ・を押しながら右キーを押す : 行末へジャンプします。
- ・を押しながら上キーを押す : 文頭へジャンプします。
- ・を押しながら下キーを押す : 文末へジャンプします。

 文中に反転表示文字があるときは、カーソルは反転表示文字の範囲内でしか移動しません。

## 10. 文字を削除する

例

営業 2 課



営業課

- 1 の左右キーを押して、削除したい文字の後ろにカーソルを移動します。



- 2 を押します。

カーソルの前(左)の文字が削除されます。



 1行目の行頭マーク  は削除できません。

## 11.文字を挿入する

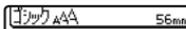
例

営業課



営業 5 課

- 1 の左右キーを押して、文字を挿入したい位置にカーソルを移動します。




- 2 を押します。

カーソルの前（左）に文字が表示されます。

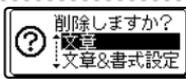



## 12.全ての文章を削除する

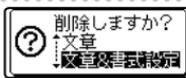
全ての文章を削除するときは、文章のみを削除する方法（文章）と文章と書式設定の両方を削除する方法（文章&書式設定）があります。「文章&書式設定」を選択すると書体、サイズ、装飾、字揃え、文字間、下線などの書式設定および枠 / ラベル設定、縦書き設定が初期設定値に戻ります。

- 1 を押します。

「削除しますか?」と確認メッセージが表示されます。



- 2 の上下キーを押して、「文章」または「文章 & 書式設定」を選択します。



- 3 を押します。

入力されていた文字が全て削除されます。





全文削除をやめるときは、「削除しますか?」の確認メッセージが表示されているときに、



を押します。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

# 13.改行する

例

販売企画部  
佐藤ゆみ

改行を使って2行以上のラベルを作ることができます。

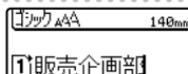


- テープ幅によって、印刷できる行数が違います。

テープ幅	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
行数	2行	2行	3行	4行	5行

- テープ幅と行数に合わせて、印刷される文字のサイズは自動的に変わります。
- 何行目を入力しているかは、行頭マークで確認します。

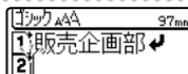
## 1 「販売企画部」と入力します。



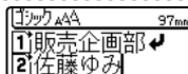
## 2 [改行] を押します。

改ブロック

改行され、2行目の行頭マーク (2) が表示されます。



## 3 「佐藤ゆみ」と入力します。



- 本体にセットされているテープ幅で印刷できる行数を超えていると、特殊印刷 [印刷] を押したとき、エラーメッセージが表示されて、印刷できません。(取消) またはいずれかのキーを押すと、入力画面に戻ります。行数を減らして印刷するか、印刷可能な広い幅のレタリテープに交換してください。
- 入力できる行数は最大5行までです。5行入力した後に、改行 [改行] を押すと「入力可能な行数は最大5行です。」とメッセージが表示されます。(取消) またはいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。
- 画面右上のラベルの長さ表示は、ラベル長さを設定していない場合、同じ文字を入力してもセットしているテープ幅によって異なります。
- テープ幅に対して印刷できない行数で入力している場合は、画面右上のラベル長さの表示が「---mm」になります。

## 14.文字を入力した後で改行して行を増やす

例

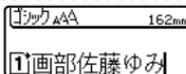
販売企画部佐藤ゆみ

→

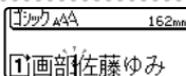
販売企画部  
佐藤ゆみ

文字を入力した後も、文章の途中で改行して行を増やすことができます。

## 1 「販売企画部佐藤ゆみ」と入力します。



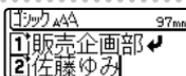
## 2 の左右キーを押して、改行したい位置にカーソルを移動します。



## 3 改行 を押します。

改ブロック

改行され、2行目の行頭マーク (2) が表示されます。



- ①
- 改行したことで、本体にセットされているテープ幅で印刷できる行数を超えると、**印刷**を押したとき、エラーメッセージが表示されて、印刷できません。**取消**またはいずれかのキーを押すと、入力画面に戻ります。行数を減らして印刷するか、印刷可能な広い幅のレタリテープに交換してください。
  - 入力できる行数は最大5行までです。5行目で**改行**を押すと「入力可能な行数は最大5行です。」とメッセージが表示されます。**取消**またはいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 15.改行を取り消して文字を連結する

例

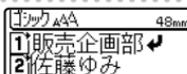
販売企画部  
佐藤ゆみ



販売企画部佐藤ゆみ

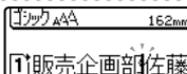
文字を入力した後も、改行を取り消して文章を連結することができます。

- 1 の上下左右キーを押して、取り消したい改行の次の行の先頭にカーソルを移動します。



- 2 を押します。

改行が取り消され、2行目の行頭マーク (2) が消えます。「販売企画部」と「佐藤ゆみ」が連結され1行になります。



## 16.改ブロックする

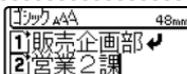
例

販売企画部 佐藤ゆみ  
営業2課

改ブロックを使うと、改ブロックを区切りとした2列以上のラベルを作ることができます。

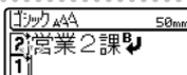
- 改ブロック数に合わせて、印刷される文字のサイズは自動的に変わります。

- 1 「販売企画部」と入力して を押し、「営業2課」と入力します。

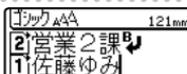


- 2 を押しながら を押します。

改ブロックされて、改ブロックマーク (B) が表示されます。また、次の列の1行目の行頭マーク (1) が表示されます。



- 3 「佐藤ゆみ」と入力します。



- 入力できるブロック数は最大9ブロックまでです。9ブロックある状態で を押しながら を押しすと「全ブロック合計で9までです。」とメッセージが表示されます。 またはいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。

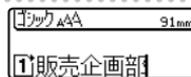
# ラベルを印刷して貼り付ける

## 1. 印刷イメージを確認する

入力した文章の印刷イメージを画面上で確認できます。

### 1 テープ送り&カット プレビューを押します。

プレビュー画面（印刷イメージ、セットされているテープ幅およびテープ長）が表示されています。



入力画面

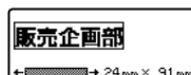


印刷イメージ  
(拡大表示)

### 2 印刷イメージを確認します。

ラベルの長さによっては、画面上に一度に表示されません。次のキーで表示する位置の移動や表示倍率の変更ができます。

- 左キーを押す : 表示位置を左方向へ移動します。
- 右キーを押す : 表示位置を右方向へ移動します。
- **シフト**を押しながら左キーを押す : ラベル先頭を表示します。
- **シフト**を押しながら右キーを押す : ラベル後尾を表示します。
- 上下キーを押す : 拡大表示と縮小表示を交互に切り替えます。
- **次候補/スペース**を押す : 表示倍率が初期表示に戻ります。



印刷イメージ  
(縮小表示)

- プレビュー画面から直接印刷する場合も、入力画面から印刷する場合と同じです。印刷の方法は、「印刷する」(→P.44)を参照してください。印刷終了後は、入力画面に戻ります。
- プレビュー表示をやめて入力画面に戻るときは、**取消**または<sup>テープ送り&カット</sup>**プレビュー**を押します。

印刷プレビュー表示はイメージ表示であり、実際の印刷結果とは異なります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 2. 印刷する

### 1 レタリテープを正しくセットします。(→P.16)

新たにレタリテープをセットしたら、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。(→P.18)

### 2 を押します。

「印刷準備中です。」→「印刷中です。」とメッセージが表示されます。  
「枠 / ラベル長さ」のカット形式設定が「余白あり」「余白小」に設定されている場合は、印刷終了後、自動的にテープがカットされます。

印刷中です。 1/1

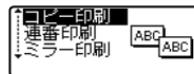
- 印刷中に  を押すと、印刷を中止し、電源が切れます。
- 反転表示の文字があるときは印刷されません。文字を確認してから印刷してください。
- カットと余白の設定については、「ラベルの余白と切り方を設定する」(→P.66)を参照してください。
- 初期値は「余白小」になっています。左余白約 23mm をカットしてから、印刷されたラベルが出てきます。

-  を押したときに各種のエラーメッセージが表示されることがあります。「こんなメッセージがでたときは」(→P.113)を参照して、原因を確認してください。
- 印刷中はテープ出口を手などでふさがないでください。テープづまりの原因になります。
- テープは絶対に手で引っ張らないでください。インクリボン飛び出しなど故障の原因になります。

## 3. 特殊な方法 (複数枚 / 連番 / ミラー) で印刷する

特殊印刷では、複数枚 / 連番 / ミラー印刷ができます。

どの方法も  を押しながら  を押して表示される特殊印刷メニューから印刷します。



### ■ 同じラベルを複数枚印刷する

同じ内容のラベルを 99 枚まで連続して印刷することができます。

### 1 レタリテープを正しくセットします。(→P.16)

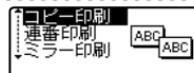
新たにレタリテープをセットしたら、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。(→P.18)

### 2 を押しながら を押します。

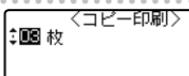
特殊印刷メニューが表示されます。

### 3 の上下キーを押して、「コピー印刷」を選択し、 を押します。

印刷枚数設定画面が表示されます。

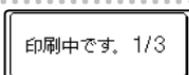


- 4  の上下キーまたは数字キーを押して、必要な印刷枚数を設定します。

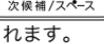


  の上下キーを長押しすると 5 枚単位で変更ができます。

- 5  を押します。



「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。  
1 枚ずつ自動的にテープがカットされ、設定した枚数を印刷します。印刷が終了すると入力画面に戻ります。

-  連続印刷を行う前に、必ずテープの残量を確認してください。テープの残量が少なくなるときは、設定枚数を少なくするか、複数枚印刷は避けてください。
- 印刷中に黒い縞模様のテープが出てきたら、レタリテープ終了です。直ちに  を押して電源を切ってください。そのまま印刷を続けると故障の原因になります。
-  1 枚ずつラベルをカットせずに連続して印刷することもできます。「ラベルの余白と切り方を設定する」(→P.66) を参照してください。
- 印刷中に右側に表示される数字は、「印刷中の枚数/設定されている印刷枚数」です。
- 印刷枚数設定時に  または  を押すと、枚数設定が初期設定値に戻ります。また、 を押すと 1 桁ずつ削除されます。

## ■ 連番印刷する

例 「実績 01 月」～「実績 12 月」の 12 枚のラベルを連番印刷で作る

実績 01 月      実績 02 月      …      実績 12 月

ラベルに入力した文章の数字部分を指定した枚数分だけ 1 ずつ増加させて、連番で印刷することができます。

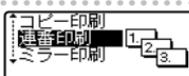
- 1 レタリテープを正しくセットします。(→P.16)

新たにレタリテープをセットしたら、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。(→P.18)

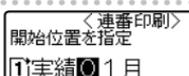
- 2  を押しながら  を押します。

特殊印刷メニューが表示されます。

- 3  の上下キーを押して、「連番印刷」を選択し、 を押します。連番印刷開始位置指定画面が表示されます。

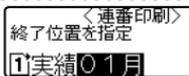


- 4  の左右キーを押して、連番印刷する範囲の開始位置を選択し、 を押します。



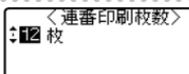
連番印刷終了位置指定画面が表示されます。

- 5 時計の左右キーを押して、連番印刷する範囲の終了位置を選択し、を押します。



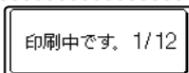
連番印刷枚数設定画面が表示されます。

- 6 時計の上下キーまたは数字キーを押して、必要な印刷枚数を設定します。



時計の上下キーを長押しすると5枚単位で変更ができます。

- 7 を押します。



「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。

1枚ずつ自動的にテープがカットされ、設定した枚数を印刷します。印刷が終了すると入力画面に戻ります。



入力画面の文字が増加後の次の数字になりますので、再利用するときは注意してください。



- 連続印刷を行う前に、必ずテープの残量を確認してください。テープの残量が少なくなるときは、設定枚数を少なくするか、複数枚印刷は避けてください。
- 印刷中に黒い縞模様のテープが出てきたら、レタリテープ終了です。直ちにを押して電源を切ってください。そのまま印刷を続けると故障の原因になります。

- 連番印刷の範囲が0～9のときは、0, 1, 2・・・9まで増加すると0に戻ります。
- 連番印刷の範囲が00～99のときは、00, 01, 02・・・99まで増加すると00に戻ります。
- 連番印刷の範囲がA～Zのときは、A, B, C・・・Zまで増加するとAに戻ります。
- 連番印刷の範囲を設定するときは、桁数に注意してください。  
例えば、日付の月を連番にする場合は、「01月」など2桁に設定してください。  
「1月」と入力して12枚印刷しても、「9月」の次は「0月」となり「10月」以降が正しく印刷できません。
- 連番印刷の範囲に2箇所以上数字がある場合は、最終の数字が連番印刷されます。  
例えば、「1月01日」を連番印刷の範囲に設定した場合、1月01日、1月02日・・・と最終の数字が増加します。
- 記号を使用して入力した数字(①, ②, ③, …, 01, 02, 03, …など)は、連番にできません。
- 1枚ずつラベルをカットせずに連続して、印刷することもできます。「ラベルの余白と切り方を設定する」(→P.66)を参照してください。
- 印刷中に右側に表示される数字は、「印刷中の枚数/設定されている印刷枚数」です。
- 連番印刷枚数設定時にを押すと、枚数設定が初期設定値に戻ります。また、を押すと1桁ずつ削除されます。

## ■ ミラー印刷する

データを左右反転して印刷します。ガラスの内側に貼るときなどに利用します。透明テープを使用してください。

例



### 1 レタリテープを正しくセットします。(→P.16)

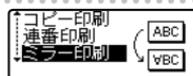
新たにレタリテープをセットしたら、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りを行ってください。(→P.18)

### 2 を押しながら<sup>特殊印刷</sup>を押します。

特殊印刷メニューが表示されます。

### 3 の上下キーを押して、「ミラー印刷」を選択し、を押します。

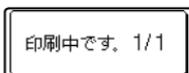
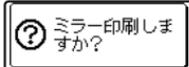
「ミラー印刷しますか?」と確認メッセージが表示されます。



### 4 を押します。

「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。

1枚ずつ自動的にテープがカットされ、設定した枚数を印刷します。印刷が終了すると入力画面に戻ります。



-  • 印刷中にを押すと、印刷を中止し、電源が切れます。
- 反転表示の文字があるときは印刷されません。文字を確定してから印刷してください。
-  • 印刷中はテープ出口を手などでふさがないようにください。テープづまりの原因になります。
- テープは絶対に手で引っ張らないでください。インクリボン飛び出しなど故障の原因になります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 4. ラベルを貼り付ける

**1** ラベルの裏紙をはがします。

**2** 目的のところに、上からしっかりと指で押さえてラベルを貼り付けます。

- ぬれたり、汚れたり、凹凸のあるところなどはラベルが貼れなかったり、はがれやすくなったりします。
- 雨や日光に直接さらされる場所や屋外では、ラベルがはがれやすくなったり、変色することがあります。
- 人体、生き物にラベルを貼ったり、公共の場所や他人の持ち物に許可なくラベルを貼ることはやめてください。
- 油性または水性ペンなどで書かれた上に直接ラベルを貼り付けると、インクがラベルに浸透して透けて見えるようになる場合があります。あらかじめ2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のラベルを使用してください。
- 強粘着布テープなどの特殊レタリテープをご使用の際は、テープに同梱されている取扱説明書を必ずお読みいただき、注意事項を十分ご確認の上、ご使用ください。



テープの種類によっては、テープの裏紙にはがしやすいように切り込み（ハーフスリット）が入っていますので、切り込みにそってはがしてください。



ハーフスリット

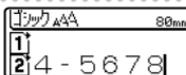
# 文章（テキスト）を保存する

## 1. ファイルに保存する

**例** 入力した **山田大輔** をファイル番号 01 に保存する  
☎000-1234-5678

入力した文章などを最大 99 個まで本体に保存しておくことができます。保存した文章は、必要に応じて、呼び出して使用したり、直接印刷することができます。

### 1 文章を入力します。



### 2 を押します。

保存メニューが表示されます。

### 3 の上下キーを押して、「保存」を選択し、 を押します。

保存先画面が表示されます。



### 4 の上下キーまたは数字キーを押して、保存先（保存するファイル番号）を設定します。

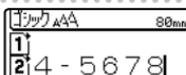


既にファイルが保存されている場合は、ファイル番号の下に、保存されている文章の内容が表示されます。



### 5 を押します。

ファイルが保存され、入力画面に戻ります。



既に存在するファイル番号を設定した場合は、ファイルは上書き保存されます。



- 保存を途中でやめるときは、 を押すごとに 1 つ前の画面に戻ります。
- 1 つのファイルに最大 186 文字まで保存できます。ただし、入力行数により異なります。
- テンプレートやカスタマイズを使用して入力した文章は保存できません。
- 保存される内容は、入力した文字など、文字設定で設定した各項目、枠 / ラベル長さで設定した各項目、縦・横書き設定です。余白・カットの設定も含まれます。

## 2. ファイルを呼び出す

**例** 保存している **山田大輔** (ファイル番号 01) を呼び出す  
📎 000-1234-5678

保存しているファイル呼び出して再利用することができます。

**1** **保存**を押します。

保存メニューが表示されます。

**2** ⌚の上下キーを押して、「呼出」を選択し、**確定**を押します。

呼出画面が表示されます。



**3** ⌚の上下キーまたは数字キーを押して、呼び出すファイル番号を選択します。

ファイル番号の下に、保存されている文章の内容が表示されます。



**4** **確定**を押します。

入力画面に戻ります。

呼び出したファイルの文章が入力されています。



- ファイルを呼び出すと、呼び出し前に入力されていた文章および文字設定情報に、呼び出したファイルの情報が上書きされます。
- 呼び出した文章の行数が、セットされているテープ幅で印刷できる最大行数を超えている場合、**印刷可能**を押すとエラーメッセージが表示されます。⏪ またはいずれかのキーを押して、エラーメッセージを消し、印刷可能な幅のレタリテープに交換するか、行数を減らして、再度印刷してください。

💡 呼び出しを途中でやめるときは、⏪を押すごとに1つ前の画面に戻ります。

## 3. ファイルを削除する

**例** 保存している **山田大輔** (ファイル番号 01) を削除する  
 000-1234-5678

保存しているファイルを削除することができます。

### 1 を押します。

保存メニューが表示されます。

### 2 の上下キーを押して、「削除」を選択し、 を押します。

削除画面が表示されます。



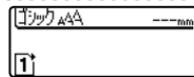
### 3 の上下キーまたは数字キーを押して、削除するファイル番号を選択します。

ファイル番号の下に、保存されている文章の内容が表示されます。



### 4 を押します。

ファイルが削除され、入力画面に戻ります。



- 削除を途中でやめるときは、 を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- 登録してあるファイルの一括削除はできません。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 4. ファイルを印刷する

**例** 保存している **山田大輔** (ファイル番号 01) を印刷する  
 000-1234-5678

保存しているファイルを一時的に呼び出し、割り込み印刷できます。  
 印刷後は直前の編集画面に戻ります。

**1**  を押します。

保存メニューが表示されます。

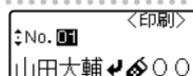
**2**  の上下キーを押して、「印刷」を選択し、 を押します。

印刷画面が表示されます。



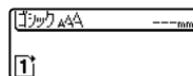
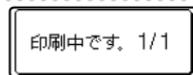
**3**  の上下キーまたは数字キーを押して、印刷するファイル番号を選択します。

ファイル番号の下に、保存されている文章の内容が表示されます。



**4**  を押します。

ファイルが印刷され、入力画面に戻ります。



- 印刷を途中でやめるときは、 を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- 印刷中に を押すと、印刷を中止し、電源が切れます。



- 印刷するファイルの文章の行数が、セットされているテープ幅で印刷できる最大行数を超えている場合、エラーメッセージが表示されます。 またはいずれかのキーを押して、エラーメッセージを消し、印刷可能な幅のレタリテープに交換するか、行数を減らして、再度印刷してください。
- 印刷したときに各種のエラーメッセージが表示されることがあります。「こんなメッセージがでたときは」(→P.113)を参照して、原因を確認してください。
- 印刷中はテープ出口を手などでふさがないようにください。テープづまりの原因になります。
- テープは絶対に手で引っ張らないでください。インクリボン飛び出しなど故障の原因になります。

# いろいろなラベルを作る

## 1. 文字の設定を変更する

文字設定

を使って、カーソルのある行の文字のサイズ、書体、装飾などを変えたり、文字間や字揃えを変えたりして、いろいろな文字設定のラベルを作ることができます。

文字設定

を押すと文字設定メニューが表示されます。

の上下キーを使って設定項目を切り替え、の左右キーを使って候補を選択します。



を押すと設定されます。



- 文字設定は、文字を入力する前でも後でも設定できます。
- 文字設定を変更しても、画面上の文字は変わりません。
- 設定後、改行すると新しくできた行は、直前の行の設定となります。
- 文字設定は行単位で設定を変えることができます。
- 文字単位では変えられません。

### ■ 設定一覧

設定項目	選択項目と画面上の表示
書体	※ゴシック 明朝  
サイズ	※自動 7pt 9pt 12pt 18pt 24pt   36pt 48pt
装飾	※なし 太字 袋文字 影付き 立体 斜体      
字揃え	※左 中央 右 均等    
文字幅	※×1 ×3/2 ×2 ×1/2 ×2/3     
文字間	※普通 狭い  
下線	※なし 下線 取消線   

※は初期設定値を示します。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ 書体を変更する

書体

書体ゴシック

書体明朝

**例** 書体の「ゴシック」を「明朝」に変更する

販売企画部

販売企画部

**1** 文章を入力します。

ゴシック AAA 91mm

販売企画部

**2** を押します。

文字設定メニューが表示されます。

**3** の上下キーを押して、「書体」を選択します。

書体 : **ゴシック**  
サイズ : 自動  
装飾 : なし  
字揃え : 左 A

**4** の左右キーを押して、「明朝」を選択します。

書体 : **明朝**  
サイズ : 自動  
装飾 : なし  
字揃え : 左 A

**5** を押します。

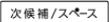
「書体」が「明朝」に設定され、入力画面に戻ります。

設定ガイダンスに「明朝」が表示されます。

明朝 AAA 91mm

販売企画部



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

## ■ サイズを変更する

サイズ  
原寸

サイズ 7pt

サイズ 9pt

サイズ 12pt

サイズ 18pt

サイズ 24pt

サイズ 36pt

サイズ 48pt

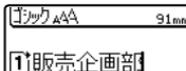
例 サイズの「自動」を「7pt」に変更する

販売企画部

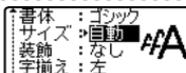
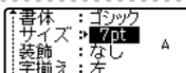
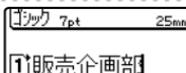


販売企画部

1 文章を入力します。

2  を押します。

文字設定メニューが表示されます。

3  の上下キーを押して、「サイズ」を選択します。4  の左右キーを押して、「7pt」を選択します。5  を押します。

「サイズ」が「7pt」に設定され、入力画面に戻ります。  
スタイルガイドランスに「7pt」が表示されます。

- サイズ自動は、セットされたテーブル幅と入力行数に応じて最大のサイズで印刷します。
- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、 を押します。
- 設定候補を選択時に、 を押すと初期設定値に戻ります。
- 小さいサイズにするとかすれたり、つぶれたりする文字があります。
- 複数行入力して特定の行に文字サイズを設定したときに、残りの行を自動にしておくと、残りの行は印刷可能な最大サイズになります。
- 48pt に設定すると、枠囲みはできません。(エラーになります。)

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ 装飾を変更する

装飾

なし

太字

袋文字

影付き

立体

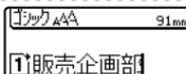
斜体

**例** 装飾の「なし」を「太字」に変更する

販売企画部

販売企画部

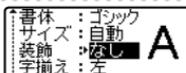
1 文章を入力します。



2  を押します。

文字設定メニューが表示されます。

3  の上下キーを押して、「装飾」を選択します。



4  の左右キーを押して、「太字」を選択します。



5  を押します。

「装飾」が「太字」に設定され、入力画面に戻ります。

設定ガイダンスに「**A**」が表示されます。



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、 を押します。
- 設定候補を選択時に、 を押すと初期設定値に戻ります。
- 装飾を設定した場合と設定しない場合では、同じテープ幅で、同じ文字サイズを設定しても印刷される文字サイズが異なります。
- 6mm 幅テープ使用時に入力行数が 2 行の場合には、斜体以外の装飾は無効となります。
- 縦書き設定がある場合は、斜体の装飾は無効となります。

## ■ 字揃えを変更する

字揃え

字揃え  
左

字揃え  
中央

字揃え  
右

字揃え  
均 等

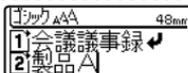
**例** 字揃えの「左」を「中央」に変更する

会議議事録  
製品 A



会議議事録  
製品 A

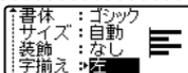
**1** 文章を入力します。



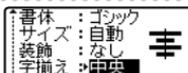
**2** **文字設定**を押します。

文字設定メニューが表示されます。

**3** の上下キーを押して、「字揃え」を選択します。

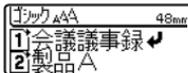


**4** の左右キーを押して、「中央」を選択します。



**5** **確定**を押します。

「字揃え」が「中央」に設定され、入力画面に戻ります。



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、**次候補/スペース**を押すと初期設定値に戻ります。
- 字揃えは、ラベル長さに対して設定されています。ラベル長さが自動の場合は、最も長い行に対して、他の行を配置します。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ 文字幅を変更する

文字幅

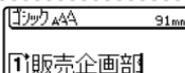


**例** 文字間の「x1」を「x1/2」に変更する

販売企画部

販売企画部

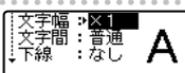
1 文章を入力します。



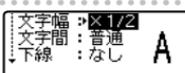
2 を押します。

文字設定メニューが表示されます。

3 の上下キーを押して、「文字幅」を選択します。

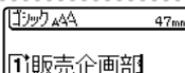


4 の左右キーを押して、「x1/2」を選択します。



5 を押します。

「文字幅」が「x1/2」に設定され、入力画面に戻ります。



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

## ■ 文字間を変更する

文字間

文字間普通

文字間狭い

例 文字間の「普通」を「狭い」に変更する

販売企画部

販売企画部

1 文章を入力します。

日付 AAA 91mm

1 販売企画部

2 を押します。

文字設定メニューが表示されます。

3 の上下キーを押して、「文字間」を選択します。文字幅 : ×1  
文字間 : 普通  
下線 : なし AA4 の左右キーを押して、「狭い」を選択します。文字幅 : ×1  
文字間 : 狭い  
下線 : なし AA5 を押します。

「文字間」が「狭い」に設定され、入力画面に戻ります。

日付 AAA 84mm

1 販売企画部



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ 下線・取消線を設定する

下線

なし

下線

取消線

**例** 下線の「なし」を「下線」に変更する

販売企画部

販売企画部

1 文章を入力します。

シシク AAA 91mm

販売企画部

2 を押します。

文字設定メニューが表示されます。

3 の上下キーを押して、「下線」を選択します。

文字幅：×1  
文字間：普通  
下線：なし A

4 の左右キーを押して、「下線」を選択します。

文字幅：×1  
文字間：普通  
下線：下線 A

5 を押します。

「下線」が「下線」に設定され、入力画面に戻ります。

シシク AAA 97mm

販売企画部



- 文字設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

## ■ 文章全体の文字設定を一括して変更する

文章全体の文字設定を一括して変更することもできます。

を押しながら を押すと、文字設定メニューが表示されます。

の上下キーを使って設定項目を切り替え、の左右キーを使って候補を選択します。

を押すと文書全体に文字設定がされます。



- 文字設定は、文字を入力する前でも後でも設定できます。
- 文字設定を変更しても、画面上の文字は変わりません。
- 行単位で文字設定を変更した後、を押して文字設定メニューを表示すると、行単位で異なる設定がされている項目の候補が「\*\*\*」と表示されます。ここで、の左右キーを使って候補を選択し直すと、文章全体に設定されますので、注意してください。

書体	:ゴシック
サイズ	: <del>10</del> ***
装飾	:なし
字揃え	:左

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 2. ラベルの設定を変更する

枠/ラベル長さ

を使って、ラベルに飾り枠を付けたり、ラベルの長さや余白を設定したりして、いろいろなデザインのラベルを作ることができます。

また、たて書き  
を使って、ラベルを縦書きにできます。



- ・枠や縦書きは、文字を入力する前でも後でも設定できます。
- ・枠や縦書きを変更しても、画面上の文字は変わりません。
- ・枠や縦書きは、行単位で設定を変えることはできません。

### ■ ラベルに枠を設定する

#### 枠の候補と印刷サンプル

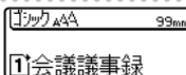


例 枠「クリップ」を設定する

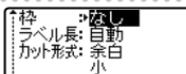
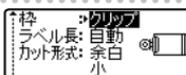
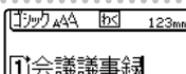
会議議事録

会議議事録

1 文章を入力します。

2 を押します。

枠 / ラベル長さ設定メニューが表示されます。

3 の上下キーを押して、「枠」を選択します。4 の左右キーを押して、「クリップ」を選択します。5 を押します。

「枠」が「クリップ」に設定され、入力画面に戻ります。

設定ガイダンスに「」が表示されます。

- 枠 / ラベル長さ設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。
- 枠を設定すると、同じテープ幅で同じ文字サイズを設定しても、枠なしより印刷される文字サイズが小さくなる場合があります。(文字サイズ自動の場合)
- 「表野線」の場合は、改行が行の区切り、改ブロックが列の区切りになります。
- 「ブロック 1」、「ブロック 2」の場合は、改ブロックがブロックの区切りになります。
- 文字サイズを 48pt に設定すると、枠囲みはできません。(エラーになります。)

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ ラベルの長さを設定する

**例** ラベル長を「80mm」に設定する

第50期 春のキャンペーン

30～300mmの範囲で、ラベルの長さを固定値に設定できます。

**1** を押します。

枠 / ラベル長さ設定メニューが表示されます。

**2** の上下キーを押して、「ラベル長」を選択します。

枠 : なし  
ラベル長: 自動  
カット形式: 余白  
小

**3** の左右キーまたは数字キーを押して、ラベル長を設定します。

枠 : なし  
ラベル長: 80 mm  
カット形式: 余白  
小

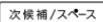
 の左右キーを長押しすると10mm単位で変更ができます。

**4** を押します。

ラベル長さが設定され、入力画面に戻ります。

設定ガイドランスのラベル長の上に「」が表示されます。

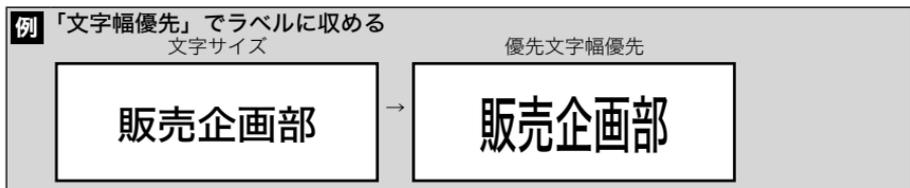
ジョウマAA 80mm  
1 キャンペーン

-  枠 / ラベル長さ設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
  - 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。また、を押すと1桁ずつ削除されます。
  - ラベル長さには、余白長さを含みます。
    - 余白大 : 左右約24mmずつ、計48mmです。
    - 余白小 : 左右約4mmずつ、計8mmです。
    - カットなし : ラベルとラベルの間の余白は約8mmです。  
(余白小でカットしないに設定したイメージです。)
- 従って、同じラベル長さに設定しても余白大・小により、印刷できる文字サイズが異なる場合があります。

 設定したラベル長に文字が収まらない場合は、「入力データがラベル長設定を超えています。」とエラーメッセージが表示されます。またはいずれかのキーを押してください。

## ■ 自動サイズ縮小優先を設定する

スタイル設定メニューの「サイズ」を「自動」に設定しているときに、ラベル長を固定値に設定すると、「自動サイズ縮小優先」が「サイズ優先」の場合は、文字サイズ全体を縮小して、ラベルに収めます。「自動サイズ縮小優先」が「文字幅優先」の場合は、文字の高さを優先して文字幅を 50% まで縮小し、ラベルに収めます。ただし、文字幅を 50% まで縮小しても収まらない場合は、文字幅を 50% のまま文字サイズをラベルに収まるまで縮小します。



### 1 を押します。

設定メニューが表示されます。

### 2 の上下キーを押して、「自動サイズ縮小優先」を選択し、 を押します。

入力方式切替  
画面の濃さ  
自動サイズ縮小優先  
お気に入り設定

### 3 の上下キーを押して、「文字幅優先」を選択し、 を押します。

<自動サイズ縮小優先>  
サイズ優先  
文字幅優先

「文字幅優先」が設定され、入力画面に戻ります。



- 自動サイズ縮小優先の設定を途中でやめるときは、 を押すことに 1 つ前の画面に戻ります。
- 自動サイズ縮小優先の設定時に、 を押すと初期設定値（サイズ優先）に戻ります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

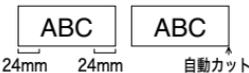
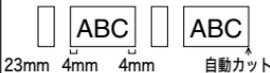
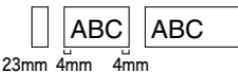
付録

## ■ ラベルの余白と切り方を設定する

ラベルを自動カットしない設定にしたり、ラベルの余白量を変更することができます。

- ❶ 強粘着テープなど本機のカッターでカットできない特殊テープを使用する場合は、設定メニューの「特殊テープ」を「特殊テープ」に設定して印刷してください。

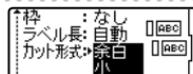
枠 / ラベル長さ設定メニューの「カット方式」でカットと余白設定を選択することができます。

余白あり (初期設定値)	ラベルを1枚印刷するごとに、自動カットします。 ラベルは左右24mmの余白付きで印刷されます。	
余白小	ラベルを1枚印刷するごとに、余白部分とラベルを自動カットします。ラベルは左右4mmの余白付きで印刷されます。 複数枚印刷する場合は、最初の余白部分をカット後、左右4mmの余白付きラベルを1枚ずつ自動カットします。	
送りなし	複数枚印刷する場合、テープを節約することができます。最初の余白部分をカット後、左右4mmの余白付きラベルを1枚ずつ自動カットします。 最後のラベルは、テープ送りと自動カットされずにそのまま止まりますので、「テープ送り&カット」を押してカットしてください。	
カットなし	複数枚印刷する場合で1枚ごとにラベルをカットしたくないとき、布テープや強粘着テープなど本機のカッターでカットできない特殊テープを使用する場合に設定してください。 印刷後は、テープ送りと自動カットされずに止まります。「テープ送り&カット」を押してカットしてください。	

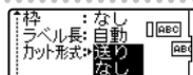
- 1 を押します。

枠 / ラベル長さ設定メニューが表示されます。

- 2 の上下キーを押して、「カット形式」を選択します。

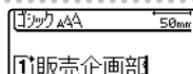


- 3 の左右キーを押して、カット形式を選択します。



- 4 を押します。

カット形式が設定され、入力画面に戻ります。



- 💡
- 枠 / ラベル長さ設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、を押します。
  - 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

## 特殊テープを使用する

強粘着テープなど本機のカッターでカットできない特殊テープを使用する場合は、設定メニューの「特殊テープ」を「特殊テープ」に設定して印刷してください。

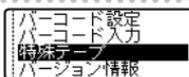
特殊テープに設定すると、他の設定に関わらずオートカットしません。

印刷後は、レタリテープを取り出して市販のハサミでカットしてください。

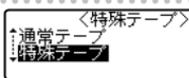
### 1 を押します。

設定メニューが表示されます。

### 2 の上下キーを押して、「特殊テープ」を選択し、 を押します。



### 3 の上下キーを押して、「特殊テープ」を選択し、 を押します。



「特殊テープ」が設定され、入力画面に戻ります。



- ・特殊テープの設定を途中でやめるときは、 を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- ・設定候補を選択時に、 を押すと初期設定値（通常テープ）に戻ります。
- ・強粘着テープをカットするとテープカッターにのりが付着してテープぶまりの原因となります。

## ■ ラベルの長さ補正を設定する

設定したラベルの長さ、実際に印刷したラベルの長さが異なる場合、実際のラベル長さに対して-1～+3%の範囲で、ラベルの長さ補正を設定できます。

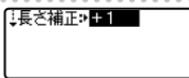
### 1 を押します。

枠 / ラベル長さ設定メニューが表示されます。

### 2 の上下キーを押して、「長さ補正」を選択します。



### 3 の左右キーを押して、長さ補正を設定します。



### 4 を押します。

ラベルの長さ補正が設定され、入力画面に戻ります。



- ・枠 / ラベル長さ設定を途中でやめて入力画面に戻るときは、 を押します。
- ・設定候補を選択時に、 を押すと初期設定値に戻ります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ 縦書きにする

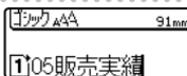
例 縦書きにする

05 販売実績



05 販売実績

1 文章を入力します。

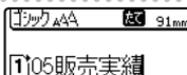


05 などの 2 桁の数字は、記号内の「2 桁数字」の 카테고리から選択し、入力します。記号内の 2 桁数字は、2 桁の数字を 1 文字分として扱うため、数字 2 桁ともに縦書きとなります。通常の入力方法で 2 桁の数字を入力すると 1 文字ずつ縦書きとなります。

2 たて書きを押します。



縦書きに設定され、入力画面に戻ります。  
設定ガイダンスに「たて」が表示されます。



- たて書きを押すたびに、縦書きと横書きを交互に切り替えます。スタイルガイダンスに「たて」が表示されているときは「縦書き」、表示されていないときは「横書き」になります。
- 縦書きを設定すると斜体の装飾は無効となります。
- 縦書きは文章全体に設定され、文字ごとや行単位に設定を変えることはできません。

# 3. バーコードを使用する

バーコードラベルは、**設定** を使って、バーコードの規格を設定した後で、バーコードの数値を入力します。

- バーコードの読み取り確認は、お客様にてお願い致します。
- 「バーコード印刷の注意」(→P.121) を必ずお読みください。

## ■ バーコードを設定する

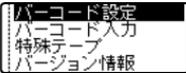
### バーコード設定一覧

設定項目	候補			
規格	※ CODE39 	I-2/5 	JAN13 	JAN8 
	UPC-A 	UPC-E 	CODABAR 	
幅	※中、大、小			
下部文字	※あり、なし			
チェックデジット	※なし、あり			

※は初期設定値を示します。

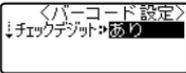
#### 例 規格「CODE39」、幅「小」、下部文字「あり」、チェックデジット「あり」に設定する

バーコードを使用するときは、はじめにバーコードの規格を設定します。

- 設定** を押します。  
設定メニューが表示されます。
-  の上下キーを押して、「バーコード設定」を選択し、**設定** を押します。  

-  の上下キーを押して、「規格」を選択し、 の左右キーを押して、「CODE39」を選択します。  

-  の上下キーを押して、「幅」を選択し、 の左右キーを押して、「小」を選択します。  

-  の上下キーを押して、「下部文字」を選択し、 の左右キーを押して、「あり」を選択します。  

-  の上下キーを押して、「チェックデジット」を選択し、 の左右キーを押して、「あり」を選択します。  


## 7 を押します。

バーコード設定が完了し、入力画面に戻ります。



- バーコード設定を途中でやめるときは、を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。

## ■ バーコードを入力する

**例** 規格「CODE39」、幅「小」、下部文字「あり」、チェックデジット「あり」でバーコード「1234」を入力する



## 1 を押します。

バーコード入力画面が表示されます。

## 2 数字キー押して、「1234」を入力します。



## 3 を押します。

バーコードが入力され、入力画面に戻ります。

「」が表示されます。



- バーコード入力を途中でやめるときは、を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- 設定候補を選択時に、を押すと初期設定値に戻ります。
- CODE39とCODABARで特殊記号を入力するときは、を押して入力する記号を選択します。



「バーコード印刷の注意」(→P.121)を必ずお読みください。

## 4. テンプレートを使う

テンプレートを押して表示されるテンプレートメニューから、あらかじめ内蔵されたテンプレートを使って、いろいろなレイアウトのラベルを作ることができます。  
テンプレートには、VHS ビデオや MD などの「用途別ラベル作成」、テープ長さがフリーの「フリーラベル作成」、ケーブルマーキング用の「ケーブルマーキング作成」の 3 種類があります。

### ■ 用途別テンプレートのラベルを作る

#### 用途別ラベルテンプレート一覧

テンプレート候補	寸法 (mm)	印刷サンプル	画面表示
CD/DVD	6 × 117		① シンボル ② タイトル
8mm ビデオ	9 × 73		① シンボル ② タイトル ④ 録画時間 ③ コメント ⑤ 録画日
Mini DV	9 × 43		① タイトル ② 録画日
スマートメディア	9 × 26		① タイトル ② コメント
音楽カセット	9 × 85		① シンボル ② タイトル
ファイル小 9mm 幅	9 × 80		① タイトル
SD メモリーカード	12 × 25		① タイトル ② コメント1 ③ コメント2
メモリースティック	12 × 34		① タイトル ② コメント1 ③ コメント2
ファイル小 12mm 幅	12 × 80		① タイトル
VHS ビデオ	18 × 142		① シンボル ② タイトル ④ 録画時間 ③ コメント ⑤ 録画日
ファイル背 18mm 幅	18 × 200		① タイトル
FD/MD	24 × 69		① タイトル ② コメント1 ③ コメント2
コンパクトフラッシュ	24 × 37		① タイトル ② コメント1 ③ コメント2

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

テンプレート候補	寸法 (mm)	印刷サンプル	画面表示
ファイル背 24mm 幅	24 × 200	販売企画部	①タイトル
ファイル 見出し	24 × 28	販売企画部 ..... 商品管理①	①タイトル ----- ②タイトル

※スマートメディア™ は株式会社東芝の商標です。

※メモリースティック™ はソニー株式会社の商標です。

※コンパクトフラッシュ™ はサンディスク株式会社の商標です。

## 用途別ラベルテンプレート候補画面の見方



### ① カーソル選択マーク



この上下キーを押して、テンプレート候補の切り替えができることを示します。

### ② テンプレート候補の名称

### ③ テンプレートのレイアウト略図

### ④ テープ幅とテープの長さ

## 用途別テンプレートのラベルを作る

例 用途別テンプレート「CD/DVD」のラベルを作る



新商品プレゼン資料

— 販売戦略会議 —

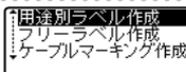
1 6mm幅のレタリテープをセットします。

2 を押します。

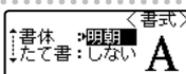
テンプレートメニューが表示されます。

3 の上下キーを押して、「用途別ラベル作成」を選択し、 を押します。

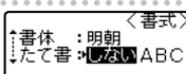
テンプレート候補選択画面が表示されます。

4 の上下キーを押して、「CD/DVD」を選択し、 を押します。  
書式設定画面が表示されます。

5 の上下キーを押して、「書体」を選択し、 の左右キーを押して、「明朝」を選択します。



6 の上下キーを押して、「たて書」を選択し、 の左右キーを押して、「しない」を選択します。

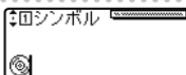


7 を押します。

「1シンボル」の入力画面が表示されます。

8 記号の「オフィス」の を入力し、 を押します。

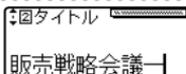
「2タイトル」の入力画面が表示されます。



記号の入力方法は、通常の記号入力操作と同じです。(→P.36)

9 「新商品プレゼン資料 —販売戦略会議—」と入力し、 を押します。

メニュー選択画面が表示されます。



- 入力方法は通常の文字入力操作と同じです。
- 「2タイトル」の入力画面で、 を押すまでは、 の上下キーを押して、入力画面を切り替えて編集し直すことができます。
- 入力画面で を押すと「定型内の文章をすべて削除しますか？」と表示されます。削除する場合は を、削除しない場合は を押します。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

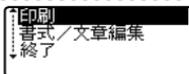
パソコン活用

カスタマイズ

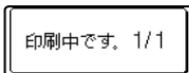
メンテナンス

付録

## 10 印刷の上下キーを押して、「印刷」を選択し、を押します。



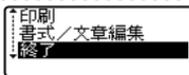
「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。  
印刷が終了するとメニュー選択画面に戻ります。



- ・を押しても印刷できます。
- ・同じラベルを複数枚印刷する場合は、を押しながら を押します。(→P.44)

## 11 印刷の上下キーを押して、「終了」を選択し、を押します。

入力画面に戻ります。



- ・同じラベルを続けて印刷する場合は、を押して、「印刷」を選択し、を押します。
- ・印刷したラベルを修正したり、内容を変更する場合は、を押して、「書式/文章編集」を選択し、を押します。書式設定画面に戻りますので、手順5以降の操作を繰り返します。入力したテキストは、記憶されています。

- ・テンプレートごとに定められたテープ幅と違うレタリテープがセットされている場合は、印刷を実行すると、「9mm テープカセットを装着してください。」などのエラーメッセージが表示されます。またはいずれかのキーを押して、エラーメッセージを消し、指定されたテープ幅のレタリテープに交換し、再度印刷をしてください。
- ・入力文字数が、定められた文字数を超えている場合は、文字入力後、を押すと「入力可能文字数を超えています。」とエラーメッセージが表示されます。またはいずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字数を減らしてください。
- ・用途別テンプレートでは  による設定、 による設定、および  による保存はできません。

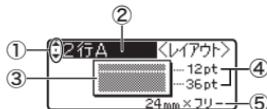
- ・用途別ラベルの作成を途中でやめるときは、を押すことに1つ前の画面に戻ります。
- ・テンプレートメニュー、テンプレート候補選択画面、書式設定画面、メニュー選択画面で、を押すと初期設定値に戻ります。

## ■フリーテンプレートのラベルを作る

### フリーラベルテンプレート一覧

テンプレート候補	寸法(幅)(mm)	印刷サンプル	レイアウト
2行A	9~24	営業第2課 田中まゆみ	①1行目 ②2行目
2行B	9~24	省エネ節電中 ※電源OFFを忘れずに	①1行目 ②2行目
2行C	18~24	【取引先管理ファイル】 ▶ア行~ナ行	①1行目 ②2行目
2行D	18~24	型名…PM-2400 黒文字/白ベース	①1行目 ②2行目
3行	12~24	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6 マックス株式会社	①1行目 ②2行目 ③3行目
1行+2行	6~12	◎PM-2400 ラベルライター 管理№▶A00001	①左 ②右1行目 ③右2行目
1行+2行A	18~24	受付 INFORMATION 整理券をお取り下さい	①左 ②右1行目 ③右2行目
1行+2行B	18~24	回覧 席を外している方は後で! 庶務課	①左 ②右1行目 ③右2行目
1行+3行	18~24	創 WEBページの事なら一 創WEBデザイン工房 http://www.***.co.jp	①左 ②右1行目 ③右2行目 ④右3行目
1行+4行	18~24	No.05 デスクトップパソコン 購入日:2004/12/01 管理番号:2001-005 管理部門:購買部 購買G	①左 ②右1行目 ③右2行目 ④右3行目 ⑤右4行目
1行	9~24	持出禁止 返却して下さい	①左 ②右

### フリーラベルテンプレート候補画面の見方



#### ① カーソル選択マーク

⊙の上下キーを押して、テンプレート候補の切り替えができることを示します。

#### ② テンプレート候補の名称

#### ③ テンプレートのレイアウト略図

#### ④ 行ごとの文字サイズ

#### ⑤ テープ幅とテープの長さ

## フリーテンプレートのラベルを作る

**例** フリーテンプレート「2行A」のラベルを作る

営業第2課

田中まゆみ

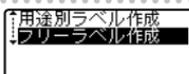
**1** 24mm 幅のレタリテープをセットします。

**2** を押します。

テンプレートメニューが表示されます。

**3** の上下キーを押して、「フリーラベル作成」を選択し、 を押します。

テープ幅選択画面が表示されます。



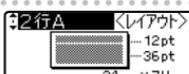
**4** の上下キーを押して、「24mm」を選択し、 を押します。

テンプレート候補選択画面が表示されます。

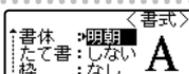


**5** の上下キーを押して、「2行A」を選択し、 を押します。

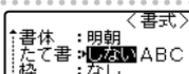
書式設定画面が表示されます。



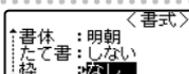
**6** の上下キーを押して、「書体」を選択し、 の左右キーを押して、「明朝」を選択します。



**7** の上下キーを押して、「たて書」を選択し、 の左右キーを押して、「しない」を選択します。



**8** の上下キーを押して、「枠」を選択し、 の左右キーを押して、「なし」を選択します。



**9** を押します。

「 1行目」の入力画面が表示されます。

**10** 「営業第2課」と入力し、 を押します。

「 2行目」の入力画面が表示されます。



入力方法は通常の文字入力操作と同じです。

11 「田中まゆみ」と入力し、を押します。

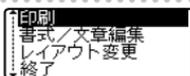
メニュー選択画面が表示されます。



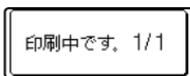
- ・「 2行目」の入力画面で、を押すまでは、の上下キーを押して、入力画面を切り替えて編集し直すことができます。
- ・入力画面でを押すと「定型内の文章をすべて削除しますか?」と表示されます。削除する場合はを、削除しない場合はを押します。

12 の上下キーを押して、「印刷」を選択し、を押します。

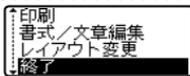
「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。  
印刷が終了するとメニュー選択画面に戻ります。



- ・を押しても印刷できます。
- ・同じラベルを複数枚印刷する場合は、を押しながらを押します。(→P.44)

13 の上下キーを押して、「終了」を選択し、を押します。

入力画面に戻ります。



- ・同じラベルを続けて印刷する場合は、の上下キーを押して、「印刷」を選択し、を押します。
- ・印刷したラベルを修正したり、内容を変更する場合は、の上下キーを押して、「書式/文章編集」を選択し、を押します。書式設定画面に戻りますので、手順6以降の操作を繰り返します。入力したテキストは、記憶されています。
- ・別のレイアウトに変更する場合は、の上下キーを押して、「レイアウト変更」を選択し、を押します。テンプレート候補選択画面に戻りますので、手順5以降の操作を繰り返します。入力したテキストは、記憶されています。

- ・テンプレートごとに定められたテープ幅と違うレタリテープがセットされている場合は、印刷を実行すると、「9mm テープカセットを装着してください。」などのエラーメッセージが表示されます。またはいずれかのキーを押して、エラーメッセージを消し、指定されたテープ幅のレタリテープに交換し、再度印刷をしてください。
- ・入力文字数が、定められた文字数を超過している場合は、文字入力時に「入力可能文字数を超過しています。」とエラーメッセージが表示されます。またはいずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字数を減らしてください。
- ・フリーテンプレートでは、による設定、による設定、およびによる保存はできません。



- ・フリーラベルの作成を途中でやめるときは、を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- ・テンプレートメニュー、テープ幅選択画面、レイアウト候補選択画面、書式設定画面、メニュー選択画面で、を押すと初期設定値に戻ります。



## ケーブルマーキングテプレートのラベルを作る

例 ケーブルマーキング「フラグ B」のラベルを作る

HUB1

PC15

1 24mm 幅のレタリテープをセットします。

2  を押します。

テンプレートメニューが表示されます。

3  の上下キーを押して、「ケーブルマーキング作成」を選択し、 を押します。

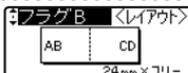
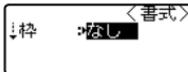
テープ幅選択画面が表示されます。

4  の上下キーを押して、「24mm」を選択し、 を押します。

テンプレート候補選択画面が表示されます。

5  の上下キーを押して、「フラグ B」を選択し、 を押します。

書式設定画面が表示されます。

6  の上下キーを押して、「書体」を選択し、 の左右キーを押して、「ゴシック」を選択します。7  の上下キーを押して、「直径」を選択し、 の左右キーを押して、「12mm」に設定します。  の左右キーを長押しすると 10mm 単位で変更ができます。8  の上下キーを押して、「フラグ長」を選択し、 の左右キーを押して、「25mm」に設定します。  の左右キーを長押しすると 10mm 単位で変更ができます。9  の上下キーを押して、「枠」を選択し、 の左右キーを押して、「なし」を選択します。10  を押します。

「1 接続先」の入力画面が表示されます。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 11 「HUB1」と入力し、を押します。

「接続先」の入力画面が表示されます。



入力方法は通常の文字入力操作と同じです。



## 12 「PC15」と入力し、を押します。

メニュー選択画面が表示されます。



- ・「接続先」の入力画面で、を押すまでは、の上下キーを押して、入力画面を切り替えて編集し直すことができます。
- ・入力画面でを押すと「定型内の文章をすべて削除しますか？」と表示されます。削除する場合はを、削除しない場合はを押します。

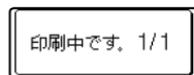
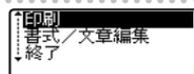


## 13 の上下キーを押して、「印刷」を選択し、を押します。

「印刷準備中です。」→「印刷中です。」と表示されます。  
印刷が終了するとメニュー選択画面に戻ります。



- ・を押しても印刷できます。
- ・同じラベルを複数枚印刷する場合は、を押しながらを押します。(→P.44)

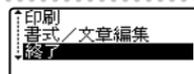


## 14 の上下キーを押して、「終了」を選択し、を押します。

入力画面に戻ります。



- ・同じラベルを続けて印刷する場合は、の上下キーを押して、「印刷」を選択し、を押します。
- ・印刷したラベルを修正したり、内容を変更する場合は、の上下キーを押して、「書式/文章編集」を選択し、を押します。書式設定画面に戻りますので、手順6以降の操作を繰り返します。入力したテキストは、記憶されています。



- 
 テンプレートごとに定められたテープ幅と違うレタリテープがセットされている場合は、印刷を実行すると、「9mm テープカセットを装着してください。」などのエラーメッセージが表示されます。 またはいずれかのキーを押して、エラーメッセージを消し、指定されたテープ幅のレタリテープに交換し、再度印刷をしてください。
  - 入力文字数が、定められた文字数を超過している場合は、文字入力後、 を押すと「入力可能文字数を超過しています。」とエラーメッセージが表示されます。 またはいずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字数を減らしてください。
  - ケーブルマーキングテンプレートでは、 による設定、 による設定、および  による保存はできません。
- 
 ケーブルマーキングラベルの作成を途中でやめるときは、 を押すことに1つ前の画面に戻ります。
  - テンプレートメニュー、テープ幅選択画面、テンプレート候補選択画面、書式設定画面の書体と枠、メニュー選択画面で、 を押すと初期設定値に戻ります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

# パソコンでラベルを作る

## 1. 各ソフトウェアの紹介

同梱の編集ソフトを使用すると、オリジナルラベルを簡単に作成することができます。バーコード印刷や画像の取り込みなど表現豊かなオリジナルデザインのラベルを作成できる高機能な「P-touch Editor（ピータッチ エディタ）」です。

本機をパソコンに接続して使用するには、パソコンに下記①～③のソフトウェア全てをインストールする必要があります。  
付属の CD-ROM を使って、次ページ以降の説明に従って、インストールしてください。

### ① P-touch Editor 4.2

いろいろなデザインのラベルが作成できる高機能な編集ソフトウェアです。

また、次のツールもあわせてインストールされます。

- P-touch Library 1.0  
(P-touch Editor で作成したラベルを素早く簡単に再印刷できます。)
- P-touch 4.2 アドイン設定  
(Microsoft® Word/Excel/Outlook® に設定されたアドインアイコンを使用して、Microsoft® Word/Excel/Outlook® のデータからラベルを作成できます。)
- P-touch Transfer Manager 1.2 (トランスファ マネージャ)  
(P-touch Editor で作成したラベルをエクスポートしてできたテンプレートデータ、データベース、イメージデータを本機に転送できます。本機に転送されたデータをダウンロードテンプレートとして、本機のみで印刷できます。)
- P-touch Backup Manager 1.2 (バックアップ マネージャ)  
(本機内のデータをパソコンに転送して、バックアップしておくことができます。そのデータを本機内に再度戻すこともできます。)

### ② 日本語フォント

独自の日本語フォント（和桜明朝、美杉ゴシック）です。

### ③ プリンタドライバ

本機をプリンタとして使用するためのソフトウェアです。本機とパソコンを接続して使用するときは、このプリンタドライバをインストールする必要があります。

## 2. ソフトウェアをインストールする

### ■ インストール前に確認する

#### 動作環境

事前に、インストール可能なパソコン（IBM PC または互換機）の動作環境をご確認ください。

項目	詳細
OS	Microsoft® Windows® 98SE/Me/2000 Pro/XP※ <sup>1</sup>
インターフェイス	USB ポート (USB1.1 以降対応)
ハードディスク※ <sup>2</sup>	70MB 以上の空き容量
メモリ	64MB 以上搭載
モニタ	SVGA, HighColor 以上のグラフィックカード
その他	CD-ROM ドライブ

※<sup>1</sup> Microsoft® Windows® 2000 Pro で使用する場合は、インストール時に「Administrator」権限でログインする必要があります。

Microsoft® Windows® XP で使用する場合は、インストール時に、「コンピュータの管理者」権限でログインする必要があります。

※<sup>2</sup> ハードディスクの空き容量は、ソフトウェアの全オプションをインストールしたときに必要な空き容量です。

#### インストールするときの注意

- ソフトウェアをインストールするまでは、パソコンに付属ケーブル (USB) を接続しないでください。もし、付属ケーブル (USB) を先に接続していた場合に次の画面が表示されたときは、[キャンセル] ボタンをクリックし、付属ケーブル (USB) を抜いてください。



- Microsoft® Windows® 2000 Pro で使用する場合、インストールするときは、「Administrator」権限を持つユーザー名でログインしてください。
- Microsoft® Windows® XP で使用する場合、インストールするときは、「コンピュータの管理者」権限を持つユーザー名でログインしてください。

## ■ ソフトウェアをまとめてインストールする

P-touch Editor 4.2、Transfer Manager 1.2、P-touch Backup Manager 1.2、日本語フォント、プリンタドライバをまとめてインストールする方法について説明します。

インストール手順は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

ここでは、Windows® XP の場合を例に説明します。

### 1 パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入します。

Bepop mini インストーラが起動し、メニュー画面が表示されます。



- 画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- 自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「Setup.exe」アイコンをダブルクリックしてください。
- 他の Bepop mini (ビーポップ ミニ) 機種をお使いの場合は、「旧バージョンのソフトウェアが見つかりました。」とメッセージが表示されます。[インストール続行] をクリックします。

### 2 「標準インストール」をクリックします。

インストールの準備が開始され、使用許諾契約画面が表示されます。



「個別インストール」をクリックすると、P-touch Editor 4.2、P-touch Transfer Manager 1.2、P-touch Backup Manager 1.2、日本語フォント、プリンタドライバの中からインストールしたいプログラムだけを選択できます。



### 3 使用許諾契約をよく読んで、使用許諾の諸条件に合意される場合は、[はい] をクリックしてインストールを続けます。

ユーザ情報画面が表示されます。



### 4 「ユーザ名」と「会社名」を入力し、[次へ] をクリックします。

インストール先の選択画面が表示されます。



### 5 [次へ] をクリックします。

ショートカットの追加画面が表示されます。



インストール先のフォルダを変更したい場合は、[参照] をクリックして変更します。



- 6** ソフトウェアのショートカット（クリックひとつで簡単にアクセスできる機能）を追加したい場所にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



ショートカットが必要ない場合は、チェックをはずしてください。



- 7** 設定内容を確認し、正しく設定されている場合は、[次へ] をクリックします。

「インストールの準備をしています。」が表示され、P-touch Editorがインストールされます。画面左上には、インストール情報が表示されます。



- 画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- 正しく設定されていない場合は、[戻る] をクリックし、設定し直してください。



- 8** アドイン設定したいソフトウェアにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。



- Microsoft® Office® のアプリケーションがすべて終了していることを確認してから、次へ進んでください。
- アドイン設定の詳細は、「P-touch Editor 4.2 ヘルプ」を参照してください。



- 9** 内容を確認して、[OK] をクリックします。

ドライバのセットアップ画面が表示されます。



- 10** ドライバのセットアップ画面に「MAX PM-2400を接続し、電源を入れてください。」とメッセージが表示されたことを確認します。



## 11 本機の USB ポートに付属ケーブル (USB) (B タイプ) を差し込みます。



- USB ポート部に貼付されている「注意シール」をはがします。
- 付属ケーブル(USB)のコネクタ形状と向きを確認の上、本機とパソコンを接続してください。

A タイプ



B タイプ



## 12 パソコンの USB ポートに付属ケーブル (USB) のもう一方 (A タイプ) を差し込みます。



パソコンによって、USB ポートの位置が異なります。詳細はパソコンの取扱説明書を参照ください。



## 13 本機の を押して電源を入れます。

パソコンが本機を認識すると、新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。

## 14 「いいえ、今回は接続しません」を選択して、[次へ] をクリックします。



Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 以外を使用のときは、本画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。



## 15 [次へ] をクリックします。

ハードウェアのインストール画面が表示されます。



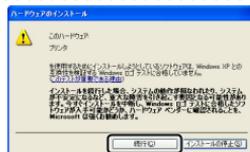
Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 以外を使用のときは、本画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。



## 16 [続行] をクリックします。



Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 以外を使用のときは、本画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。



**17 [完了] をクリックします。**

プリンタドライバのインストール画面が完了すると、オンラインユーザー登録画面が表示されます。



Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 以外を使用のときは、本画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

**18 すぐにオンラインユーザー登録をするかを選択し、[次へ] をクリックします。**

- 「はい、表示します。」を選択すると、インターネット経由でオンラインユーザー登録をする画面が表示されます。ユーザー登録後、インストールを継続してください。(登録推奨)
- 「いいえ、表示しません。」を選択すると、インストールが継続されます。

**19 [完了] をクリックします。**

ソフトウェアのインストールが完了します。



インストールが完了すると、パソコンを再起動するようにメッセージが表示される場合があります。その場合は、「再起動」を選択し、[完了] をクリックしてください。

**20 P-touch Setup 画面の [終了] をクリックします。**

これで、ソフトウェアとプリンタドライバのインストールは完了です。

CD-ROM を取り出します。

**21 このあと、「簡単なラベルを作る」(→P.88)に進みます。**

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 3. 簡単なラベルを作る

インストールした P-touch Editor を使って簡単なラベルを作る方法について説明します。

### ■ P-touch Editor を使ってラベルを作る

ここでは、P-touch Editor の概要についてのみ説明しています。詳しい使い方は、ヘルプに掲載されています。詳細は、「ヘルプの使い方」(→P.92)を参照してください。

#### 7 [スタート]-[すべてのプログラム (プログラム)]-[MAX]-[P-touch Editor 4.2]の順にクリックします。



次の方法で P-touch Editor を起動することもできます。(ショートカットをインストール時に作成した場合のみ)

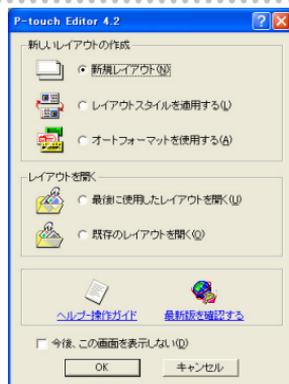
- ・デスクトップ上のショートカットをダブルクリック
- ・クイック起動バーのショートカットをクリック

P-touch Editor が起動すると、新しいレイアウトでラベルを作成するか、既存のラベルを開くかなどを選択する「動作選択」ダイアログボックスが表示されます。

P-touch Editor を起動したときの動作設定は、メニューの [ツール] - [オプション] の順にクリックして [オプション] ダイアログボックスを表示します。[全般] タブの「起動時の設定」にある「動作」リストボックスで指定できます。通常は、「動作選択ダイアログを表示」を指定してください。

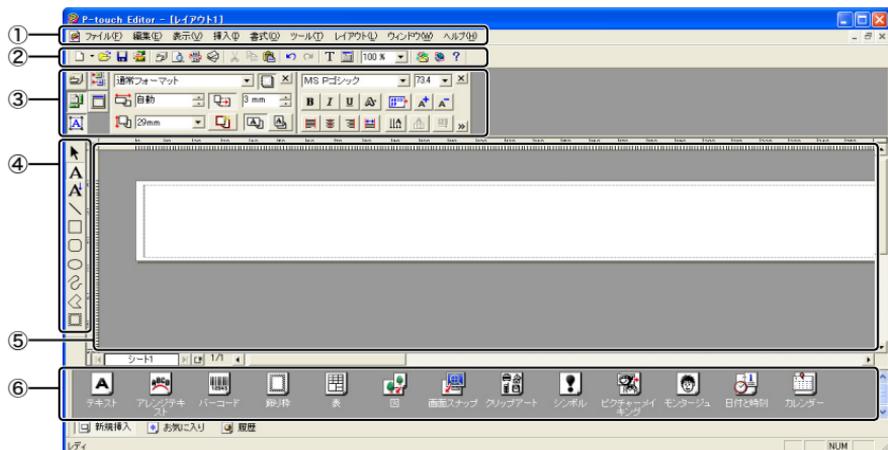
#### 2 [動作選択] ダイアログボックスで動作を選択し、[OK] をクリックします。

- ・「新規レイアウト」、「レイアウトスタイルを適用する」、「最後に使用したレイアウトを開く」を選択したときは、編集画面が表示されます。
- ・「オートフォーマットを使用する」を選択したときは、[オートフォーマット] ダイアログボックスが表示されます。あらかじめ用意されたテンプレートから好みのレイアウトを簡単に作成できます。
- ・「既存のレイアウトを開く」を選択すると、[開く] ダイアログボックスが表示されます。保存したレイアウトを再利用できます。
- ・「ヘルプ操作ガイド」を選択したときは、P-touch Editor ヘルプが表示されます。よく使うラベルの作成方法を順を追って学習することができます。
- ・インターネットに接続しているパソコンで、「最新版を確認する」を選択したときは、MAX BEPOP MEMBER HOMEPAGE にアクセスします。最新ソフトウェアのダウンロードや、FAQ などを確認することができます。



## 編集画面

編集画面は、次の6種類で構成されています。



### ① メニュー

ファイル、編集、表示、挿入など、機能ごとのメニューに各コマンドが分類されています。

### ② 標準ツールバー

新規レイアウト、開く、保存、オートフォーマットなど、メニューのコマンドのうち、よく使われるコマンドを集めたツールバーです。

### ③ プロパティドック

印刷プロパティ、ページプロパティ、テキストプロパティ、レイアウトプロパティ、データベースプロパティがあります。プロパティドックの左のボタンをクリックして、表示 / 非表示を切り替えることができます。

### ④ 描画ツールバー

オブジェクトの選択、テキスト入力、図形の描画などの機能があります。

### ⑤ レイアウトウィンドウ

挿入したオブジェクトを表示、編集する領域です。

### ⑥ オブジェクトドック

テキスト、アレンジテキスト、バーコード、飾り枠、表、図などを簡単に挿入できます。

- ツールバーやドック、ウィンドウは、[表示]メニューで表示 / 非表示を切り替えることができます。
- データベースおよびラベルリストを利用するときは、編集画面にラベルリスト / データベースウィンドウが表示されます。

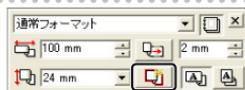
例

# キャンペーン報告書

- 3** 12mm 幅テープを本体にセットし、ページプロパティボックスの  をクリックします。



ページプロパティボックスがプロパティドックに表示されていない場合は、 をクリックして表示してください。



- 4** ページプロパティボックスにあるラベルの長さを「80mm」に設定します。

レイアウトウィンドウのラベルフォーマットが設定したサイズに変更されます。



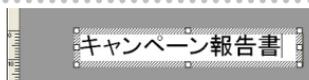
- 5** テキストプロパティボックスにある文字サイズを「24」に設定します。



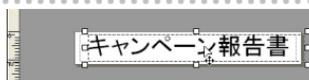
テキストプロパティボックスがプロパティドックに表示されていない場合は、 をクリックして表示してください。



- 6** オブジェクトドックにある  (テキスト) をクリックし、「キャンペーン報告書」と入力します。



- 7** 描画ツールの  をクリックした後、文字をドラッグして適切な位置に移動します。



- 8** 画面下側のオブジェクトドックの  (飾り枠) をクリックします。

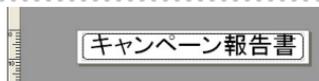
[飾り枠のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

- 9** 「カテゴリ」の「シンプル」を選択して、「スタイル」の「角の丸い長方形 (細線)」を選択します。



**10** [OK] をクリックします。

右のようにレイアウトされます。

**11** 印刷プロパティボックスにある印刷したい枚数を「1」に設定し、印刷をクリックします。

ラベルが印刷されます。



- 印刷プロパティボックスがプロパティドックに表示されていない場合は、印刷アイコンをクリックして表示してください。
- 印刷アイコンをクリックして表示される [印刷] ダイアログボックスで印刷条件を設定して、印刷することもできます。
- ラベルを保存するときは、[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] をクリックします。

**12** 「作成したレイアウトの自動登録機能を有効にしますか？」とメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。**13** [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] をクリックし、P-touch Editor を終了します。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ヘルプの使い方

P-touch Editor のヘルプでは、利用できる機能についての詳しい情報や操作手順を説明しています。

### 1 P-touch Editor の編集画面で[ヘルプ]-[P-touch Editor ヘルプ] の順にクリックします。

[P-touch Editor 4.2 ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



次の方法で P-touch Editor のヘルプを起動することもできます。

- [スタート]-[すべてのプログラム (プログラム)]-[MAX]-[P-touch Editor 4.2 ヘルプ] の順にクリックします。
- P-touch Editor の編集画面を表示しているときに、キーボードの [F1] キーを押します。

### 2 P-touch Editor ヘルプを操作して、閲覧します。



#### ① ツールバー

ヘルプを素早く、簡単に操作するためのアイコンです。

#### ② タブ

[目次]、[キーワード]、[検索]、[お気に入り] の 4 通りの方法で、P-touch Editor ヘルプ の記載情報を検索することができます。

#### ③ メニュー

選択したタブの内容が表示されます。

#### ④ トピックエリア

選択した項目の説明が表示されます。

- 操作編 : 事例に従って、ラベル作成手順を説明します。
- 機能編 : P-touch Editor の機能を項目別に説明します。
- トラブルシューティング : トラブルの対処法について説明します。
- 各ヘルプにジャンプ : P-touch Library のヘルプにジャンプします。

### 3 必要に応じて、ヘルプを印刷します。

ヘルプの内容を印刷することができます。ヘルプは通常のプリンタから印刷します。

①【目次】タブで印刷したいトピックを選択します。

② ツールバーの  をクリックします。

【トピック印刷】ダイアログボックスが表示されます。

③ 印刷するトピックの範囲を選択して、【OK】をクリックします。

【印刷】ダイアログボックスが表示されます。

④ 「プリンタ」を選択して【印刷】をクリックします。

ヘルプが印刷されます。



❗ A4 など一般的な用紙サイズに対応している通常のプリンタを選択してください。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 4. 他の種類のラベルを作る

「P-touch Editor ヘルプ」の操作編（PM シリーズ）では、次のようなラベルを作成する手順を説明しています。

	例	紹介している機能
名前ラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>ラベルの大きさを指定</li> <li>テキストラベルを中央に配置</li> <li>テキストのまわりに枠付け</li> </ul>
CD ケースラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>背景テーマの設定</li> <li>クリップアートの挿入</li> <li>シート機能で複数のラベルをまとめる</li> </ul>
縦書きラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>縦書きラベルの作成</li> <li>縦中横組み文字の設定</li> </ul>
ナンバリング（連番）印刷してみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストのナンバリングの設定、印刷</li> </ul>
決まった長さのラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストの拡大、均等割付</li> <li>文字の制御方法</li> </ul>
表を作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>表の挿入</li> <li>セルの結合</li> <li>表内へのテキスト入力</li> </ul>
短縮ダイヤルラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>罫線なしの表</li> <li>セルの幅設定</li> </ul>
バーコードラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>規格の選択</li> <li>サイズの変更</li> </ul>
Excel のデータを利用して印刷してみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>Excel ファイルの接続</li> <li>レイアウトへのマージ</li> </ul>
幅広ラベルを作ってみよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広ラベルの設定</li> <li>文字の反転</li> </ul>

# カスタマイズする (オリジナルテンプレート作成)

本機は、パソコンで用意したデータを転送することにより、使いやすくカスタマイズすることができます。

パソコンから本機に転送できるデータは、以下の形式ファイルです。

## ● テンプレートデータ (lbl 形式)

P-touch Editor 4.2 で作成したラベルデータです。

テンプレートデータには、オートフォーマットやレイアウト画面などで作成した通常のテンプレートデータと、データベースを利用して作成したテンプレートデータの2種類があります。

## ● データベースデータ (mdb/xls/csv/txt 形式)

Microsoft® Excel や Access などで作成した表データです。

データベースを利用して作成したテンプレートとの連携状態を維持したまま、本機に転送できます。

## ● ロゴ (イメージ) データ (bmp 形式)

ロゴなどのイメージデータです。

- ❗ 転送できるファイル数は、以下の通りです。
- ・テンプレートとロゴ (イメージ) データをあわせて、最大 10 件 (データ 0 ~ 9) までです。
  - ・データベースは 1 件のみです。

## 1. オリジナルテンプレートを使用する

### ■ オリジナルテンプレートを作る

例

松楠市役所 備品票	品名	ラベルプリンタ
	番号	1400101
	購入 年月日	200*/12/1

種類：備品票 (オリジナルテンプレート)、サイズ：24mm (テープ幅) × 80mm

P-touch Editor 4.2 を使って、本機に転送して使用するオリジナルテンプレートを作成します。

#### 1 P-touch Editor を起動します。



P-touch Editor の起動方法の詳細は「P-touch Editor を使ってラベルを作る」(→P.88)を参照してください。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

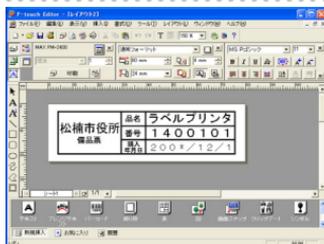
メンテナンス

付録

## 2 オリジナルテンプレートを、通常のラベルを作る場合と同じ手順で作成します。

💡 P-touch Editor の操作方法の詳細は「P-touch Editor を使ってラベルを作る」(➔P.88)を参照してください。

⚠️ P-touch Editor で転送用のテンプレートを作るときは、さまざまな点に注意する必要があります。詳細は、「テンプレート作成時の注意事項」(➔P.97)を参照してください。

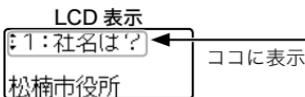
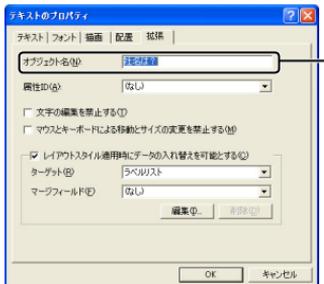


## 3 テキストボックスを選択し、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。 [テキストのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



## 4 [拡張] タブをクリックして、「オブジェクト名」の内容を変更します。

- 💡
- 「オブジェクト名」は、本機でオリジナルテンプレートを使用するときに、項目名として表示されます。使いやすいテンプレートを作るために、工夫して入力してください。
  - [拡張] タブが表示されない場合は、[テキストのプロパティ]ダイアログボックスを閉じ、[ツール]メニューから[オプション]をクリックして[オプション]ダイアログボックスを表示します。  
[全般] タブの「オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示」をチェックし、[OK]をクリックします。



## 5 [OK] をクリックします。

テキストボックスの数だけ、手順3～5までを繰り返します。

- ⚠️
- 本機で文字入力したくないテキストボックスをグループ化しておくと、本機で入力画面が表示されなくなります。
  - 本機での入力表示順は、原則としてP-touch Editorでオブジェクトを作成した順になります。

## テンプレート作成時の注意事項

P-touch Editor で転送用のテンプレートを作るときは、以下の点に注意してください。

項目	内容
使用可能な文字	使用可能な文字は、Shift-JIS(Japanese)に登録されている文字のみです。(特殊な漢字や記号は使用できません。)
最大文字数	1 テンプレートに入力できる文字数は、最大 180 文字です。
書体 (フォント)	パソコンで設定した書体 (フォント) は、本機内蔵の「ゴシック」と「明朝」に置き換わります。テンプレート作成時は、「美杉ゴシック M 体」がイメージに最も近くなります。
文字サイズ	パソコンから転送すると、文字サイズはすべて「自動」となります。
文字設定 (文字装飾)	パソコンで設定した文字単位の文字設定 (文字装飾) は、行単位の文字設定 (文字装飾) に置き換わります。 本体側で対応していない文字設定 (文字装飾) は、すべて無効になります。
下線・取消線	パソコンで設定した下線・取消線 (線種選択可能) は、本機内蔵の線種 (1 種類) に置き換わります。また、回転していないテキストに下線・取消線を設定した場合は有効になりますが、90 度など回転したテキストに下線・取消線を設定した場合は無効になります。
行間・文字間	パソコンで設定した行間・文字間は、すべて無効になります。
ナンバリング設定	パソコンで設定したナンバリング設定は、すべて無効になります。
背景	パソコンで設定した背景は、すべて無効になります。
日付・時刻	パソコンで設定した日付・時刻は、すべて無効になります。
バーコード	本体側で対応していないバーコードは印刷できません。 1 つのテンプレートに入力できるバーコードの数は、最大 5 件です。
ラベル長さ	ラベルの長さは、最大 1m までです。 パソコンでは、ラベルの長さを自動に設定できますが、本体ではラベル編集時の長さで固定となります。 パソコンで設定したラベル長さは、本機に転送すると 1mm 程度の誤差が発生します。
1 フィールドに入力可能な行数	1 フィールドに入力できる行数は 1 行までです。2 行目以降は、すべて無効になります。
フィールド (ブロック) 数	1 テンプレートに配置できるフィールド (ブロック) 数は、最大 9 件です。
オブジェクトの重ね合わせ	パソコンで、テキストやバーコードとその他のオブジェクトを重ね合わせたレイアウトを作成した場合は、常にテキストとバーコードが、その他のオブジェクトの前面に配置されます。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ オリジナルテンプレートを転送する

パソコンで作成したデータを本機に転送するときは、P-touch Editor 4.2 とあわせてインストールされている P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) を使用します。

### 1 P-touch Editor で、転送したいテンプレートを開きます。

### 2 [ファイル] メニューの [テンプレートの転送] をクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) が起動して、[テンプレート名] ダイアログボックスが表示されます。



### 3 「テンプレート名」を入力して、[OK] をクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) のファイルリストにテンプレートが登録されます。



### 4 ファイルリストに登録されたテンプレートを選択して、[PF キーの割り当て変更] をクリックし、表示されたメニューから本機への転送先を選択します。



PF キーとは、本機のテンプレート保存先を示しています。

カスタマイズ

本機で  を押したときのテンプレートやイメージ文字の表示順を設定できます。



- ・「プレビュー」に表示されるイメージは、P-touch Editor 上の印刷イメージです。本機での印刷結果とは異なる場合があります。
- ・ウィンドウの表示が「P-touch Transfer Manager (MAX PM-24)」となっている場合は、プリンタの設定が必要です。この表示の左側にあるアイコンを右クリックし、[プリンタ設定] - [MAX PM-2400] の順にクリックして、[OK] をクリックします。

### 5 本機の電源を切り、付属ケーブル (USB) でパソコンと接続した後、 を押しながら を押します。

本機が転送モードで起動します。



データを転送する場合は、必ず本機を転送モードにしてください。

## 6 ファイルリストに登録されているファイルを選択して、[開始] をクリックします。

ファイルの転送が開始されます。  
ファイルの転送が完了すると、「転送は正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。



## 7 [OK] をクリックします。

これでオリジナルテンプレートの転送は完了です。



転送が完了したら、本機の電源を切ってください。  
もう一度、電源を入れると通常モードで起動します。



### 本体テンプレートの削除について

本体のテンプレートは、本体では削除できません。削除する場合は、別のテンプレートデータを削除する番号と同じ番号に指定し、本体に転送します。上書きされて、前のデータは削除されます。

ロゴデータについても同様です。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

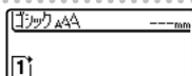
## ■ オリジナルテンプレートを使ってラベルを作る



種類：備品票（オリジナルテンプレート）、サイズ：24mm（テープ幅）× 80mm

P-touch Editor 4.2 を使って、本機に転送して使用するオリジナルテンプレートを作成します。

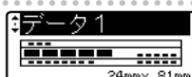
**1** を押して、本機の電源を入れます。



**2** を押します。

データベース

テンプレート選択画面が表示されます。



**3** の上下キーを押して、「データ4」を選択し、 を押します。

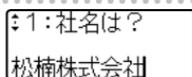
「1：社名は？」の入力画面が表示されます。

(→P.96の手順4で「拡張」タブの「オブジェクト名」に入力した文字がメッセージとして表示されます。)



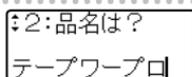
**4** 表示された内容を「松楠株式会社」に変更し、 を押します。

「2：品名は？」の入力画面が表示されます。



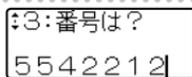
**5** 表示された内容を「テープワープ口」に変更し、 を押します。

「3：番号は？」の入力画面が表示されます。



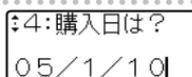
**6** 表示された内容を「5542212」に変更し、 を押します。

「4：購入日は？」の入力画面が表示されます。



**7** 表示された内容を「2005/1/10」に変更し、 を押します。

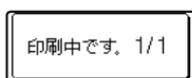
メニュー選択画面が表示されます。



**8** の上下キーを押して、「印刷」を選択し、 を押します。



「印刷準備中です。」→「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。



## 2. データベースを使用する

### ■ データベースを利用したテンプレートを作る

例

USBケーブル CB-001



\*111111-001\*

ACアダプタ AC-123



\*222222-001\*

種類：部品票、サイズ：18mm（テープ幅）× 72mm

P-touch Editor を使って、本機に転送するデータベースを利用したテンプレートを作成します。

#### 1 P-touch Editor を起動します。



P-touch Editor の起動方法の詳細は「P-touch Editor を使ってラベルを作る」(→P.88)を参照してください。

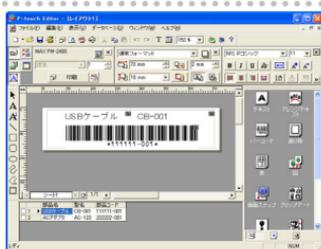
#### 2 データベースを利用したテンプレートを、通常のラベルを作る場合と同じ手順で作成します。



データベースを利用したラベルの作り方の詳細は、「他の種類のラベルを作る」(→P.94)を参照してください。



- 本機へ転送できるデータベースの最大行数は 999 行です。それ以降は、無効になりますので注意してください。
- P-touch Editor で転送用のテンプレートを作るときは、さまざまな点に注意する必要があります。詳細は、「オリジナルテンプレートを使用する」(→P.95)を参照してください。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ データベースを利用したテンプレートを転送する

パソコンで作成したデータを本機に転送するときは、P-touch Editor と一緒にインストールされている P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) を使用します。

### 1 P-touch Editor で、転送したいテンプレートとデータベースを開きます。

### 2 [ファイル] メニューの [テンプレートの転送] をクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) が起動して、[テンプレート名] ダイアログボックスが表示されます。



### 3 「テンプレート名」を入力して、[OK] をクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) のファイルリストにテンプレートが登録されます。



### 4 ファイルリストに登録されたテンプレートを選択して、[PF キーの割り当て変更] をクリックし、表示されたメニューから本機への転送先を選択します。



- ファイルリストに自動的に連携したリストのファイルもデータベースとして表示されます。
- PF キーとは、本機のテンプレート保存先を示しています。

カスタマイズ

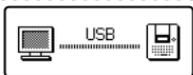
本機で  データベース を押したときのテンプレートやイメージ文字の表示順を設定できます。



- 「プレビュー」に表示されるイメージは、P-touch Editor 上の印刷イメージです。本機での印刷結果とは異なる場合があります。
- ウィンドウの表示が「P-touch Transfer Manager (MAX PM-24)」となっている場合は、プリンタの設定が必要です。この表示の左側にあるアイコンを右クリックし、[プリンタ設定] - [MAX PM-2400] の順にクリックして、[OK] をクリックします。

### 5 本機の電源を切り、付属ケーブル (USB) でパソコンと接続した後、 を押しながら を押します。

本機が転送モードで起動します。



データを転送する場合は、必ず本機を転送モードにしてください。

## 6 ファイルリストに登録されているテンプレートとデータベースを選択して、[開始]をクリックします。

ファイルの転送が開始されます。  
ファイルの転送が完了すると、「転送は正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。

❗ 転送できるデータベースファイルは1件のみです。



## 7 [OK] をクリックします。

これでテンプレートとデータベースの転送は完了です。

❗ 転送が完了したら、本機の電源を切ってください。  
もう一度、電源を入れると通常モードで起動します。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

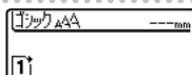
付録

## ■ データベースを利用したテンプレートを使ってラベルを作る



種類：部品管理ラベル、サイズ：18mm（テープ幅）× 72mm

- 1** を押して、本機の電源を入れます。



- 2** を押します。



データベース

テンプレート選択画面が表示されます。



- 3** の上下キーを押して、データベースを利用して作成したテンプレート「データ1」を選択し、 を押します。

データベース呼出画面が表示されます。



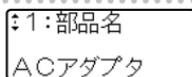
- 4** の上下キーを押して、「2：ACアダプタ」を選択し、 を押します。

「1：部品名」の入力画面が表示されます。



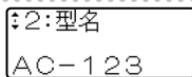
- 5** データベースから読み込まれた内容が正しいか確認し、 を押します。

「2：型名」の入力画面が表示されます。



- 6** データベースから読み込まれた内容が正しいか確認し、 を押します。

「3：部品コード」の入力画面が表示されます。



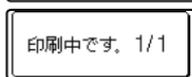
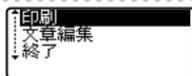
- 7** データベースから読み込まれた内容が正しいか確認し、 を押します。

メニュー選択画面が表示されます。



- 8** の上下キーを押して、「印刷」を選択し、 を押します。

「印刷準備中です。」→「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。



メニュー選択画面で、 を押しながら を押すと、データベース範囲画面が表示されます。「開始レコード」と「終了レコード」を設定することにより、データベースに登録された複数のラベルを一度に印刷することができます。

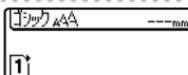
## ■ データベースのテキストを使ってラベルを作る

例

# CB-001

種類：型名ラベル、内容：レコード No.1 の型名「CB-001」  
パソコンから転送したデータベースのテキストは、通常のラベル作成時にも使用することができます。

1 を押して、本機の電源を入れます。



2 を押しながら を押します。

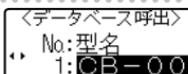
データベース

データベース呼出画面が表示されます。



3 を操作して、レコード No.1 の型名「CB-001」を選択し、

を押します。



「CB-001」がデータベースから読み込まれて入力されます。

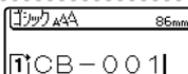


データベース呼出画面で、 を押しながら を押すと、データベース検索画面が表示されます。検索したい文字列を入力して、 を押すことにより、データベース内のテキストを検索して表示することができます。

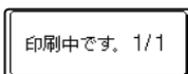
また、データベース検索画面でさらに、 を押しながら を押すと、レコード No. 入力画面が表示されますので、レコード No. でテキストを特定することもできます。

4 を押します。

特殊印刷  
印刷



「印刷準備中です。」 → 「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。



お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 3. ロゴ (イメージ) を使用する

### ■ ロゴ (イメージ) を転送する

パソコンで用意したイメージデータ (bmp) を本機に転送するときは、P-touch Editor と一緒にインストールされている P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) を使用します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム (プログラム)] - [MAX] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 1.2] の順にクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) が起動します。



- 2 [フォルダ変更] をクリックします。

[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 本機に転送したいロゴ (イメージ) データの保存されているフォルダを選択して、[OK] をクリックします。

P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) のファイルリストに転送できるイメージデータが、イメージ文字として登録されます。



- ロゴ (イメージ) データの最大サイズは、2048 × 2048 ドットです。
- ロゴ (イメージ) データは、縦サイズに合わせて、横サイズを縮小します。(縦横比固定)  
ただし、縮小時の横サイズは、320 ドットまでです。320 ドットに収まらない場合は、範囲外の部分が無効になります。(印刷されません。)

- 4** ファイルリストに登録されたイメージ文字を選択して、[PF キーの割り当て変更]し、表示されたメニューから本機への転送先を選択します。



- PF キーとは、本機のテンプレート保存先を示しています。

カスタマイズ

本機で  データベースを押したときのテンプレートやイメージ文字の表示順を設定できます。



- 「プレビュー」に表示されるイメージは、P-touch Editor 上の印刷イメージです。本機での印刷結果とは異なる場合があります。
- ウィンドウの表示が「P-touch Transfer Manager (MAX PM-24)」となっている場合は、プリンタの設定が必要です。この表示の左側にあるアイコンを右クリックし、[プリンタ設定] - [MAX PM-2400] の順にクリックして、[OK] をクリックします。

- 5** 本機の電源を切り、付属ケーブル (USB) でパソコンと接続した後、 を押しながら  を押します。

本機が転送モードで起動します。



- データを転送する場合は、必ず本機を転送モードにしてください。

- 6** ファイルリストに登録されているイメージ文字を選択して、[開始] をクリックします。

ファイルの転送が開始されます。

ファイルの転送が完了すると、「転送は正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 7** [OK] をクリックします。

これでイメージ文字の転送は完了です。



- 転送が完了したら、本機の電源を切ってください。もう一度、電源を入れると通常モードで起動します。

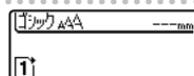


## ■ ロゴ (イメージ) を使ってラベルを作る



種類：ロゴラベル、内容：「MAX」

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れます。



2 カスタマイズボタンを押します。



データベース  
テンプレート選択画面が表示されます。



3 時計の上下キーを押して、「外字データ」を選択し、確定ボタンを押します。



外字データ「MAX」が入力されます。

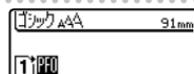


文字サイズの設定に応じて、大きさを変えることができます。

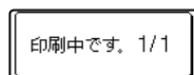
4 特殊印刷印刷ボタンを押します。



画面上には、「PFO」のようにデータ転送したときの番号が「PF」の後に付いたマークで表示されます。



「印刷準備中です。」→「印刷中です。」とメッセージが表示され、本機からラベルが印刷されます。



## 4. 本機のデータをバックアップする

P-touch Backup Manager (バックアップ マネージャ) を使用して、P-touch Transfer Manager (トランスファ マネージャ) で本体に転送したデータを、パソコン上にバックアップできます。

- 1** 本機の電源を切り、付属ケーブル (USB) でパソコンと接続した後、**[シフト]** を押しながら **[電源]** を押します。

本機が転送モードで起動します。



- !** データを転送する場合は、必ず本機を転送モードにしてください。

- 2** [スタート] - [すべてのプログラム (プログラム)] - [MAX] - [P-touch ツール] - [P-touch Backup Manager 1.2] の順にクリックします。

P-touch Backup Manager (バックアップ マネージャ) が起動します。



- 3** [プリンタ -> PC] タブをクリックします。

本体内のバックアップ可能なデータが「データリスト」に表示されます。

- !** [変更] をクリックして、パソコンの保存先フォルダを変更できます。



- 4** バックアップしたいデータを選択し、[開始] をクリックします。

本体内のデータがパソコンに転送されます。ファイルの転送が完了すると、「転送は正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 5** [OK] をクリックします。

これで、本体内のデータのバックアップは完了です。



## 5. バックアップしたデータを本機に戻す

P-touch Backup Manager (バックアップ マネージャ) を使用して、パソコン上にバックアップしたデータを本機に戻すことができます。

- 1** 本機の電源を切り、付属ケーブル (USB) でパソコンと接続した後、**[シフト]** を押しながら **[電源]** を押します。



本機が転送モードで起動します。

**!** データを転送する場合は、必ず本機を転送モードにしてください。

- 2** **[スタート]** - **[すべてのプログラム (プログラム)]** - **[MAX]** - **[P-touch ツール]** - **[P-touch Backup Manager 1.2]** の順にクリックします。



P-touch Backup Manager (バックアップ マネージャ) が起動します。

- 3** **[PC -> プリンタ]** タブをクリックします。

パソコン内のあらかじめ決められたディレクトリに保存されているバックアップファイルが「ファイルリスト」に表示されます。



**!** バックアップ時に、保存先フォルダを変更した場合は、**[変更]** をクリックして、参照元フォルダを変更してください。

- 4** 本体に戻したいバックアップデータを選択し、**[開始]** をクリックします。

バックアップデータがパソコンに接続されている本機に転送されます。

ファイルの転送が完了すると、「転送は正常に終了しました。」とメッセージが表示されます。



**!** バックアップ後、他のテンプレートを転送すると、バックアップファイルを本機にうまく転送できないことがあります。その場合は、本機を一度リセットしてください。

リセット方法: **[シフト]** と **[R]** を押しながら、**[電源]** を押します。

※ この操作では、保存していたメモリや記号のお気に入りも削除されますので、注意してください。

- 5** **[OK]** をクリックします。

これで、バックアップデータが本機に戻す操作は完了です。



# 長くお使いいただくために

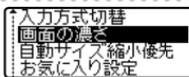
## 1. 画面の濃さを変更する

画面の表示が見にくい場合など、画面の濃さを5段階（+2、+1、0、-1、-2）から設定することができます。0が、初期設定値になります。

### 1 設定を押します。

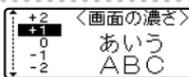
設定メニューが表示されます。

### 2 時計の上下キーを押して、「画面の濃さ」を選択し、を押します。



### 3 時計の上下キーを押して、画面の濃さを選択し、を押します。

実際の画面の濃さも変わりますので、見やすい濃さに調整してください。



- 画面の濃さの設定を途中でやめるときは、を押すごとに1つ前の画面に戻ります。
- 画面の濃さ設定時に、を押すと初期設定値（0）に戻ります。

## 2. お手入れのしかた

 お手入れするときは、必ず本体の電源を切ってください。

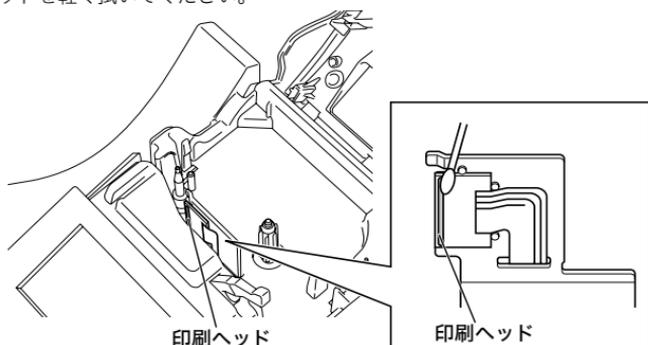
### ■ 本体外観の汚れ

本体外観の汚れ・ほこりは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、水でぬらして固くしぼった布で拭き取ってください。

 ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤・薬剤などは使用しないでください。ケースが変形したり、表面が傷んだりする恐れがあります。

## ■ 印刷ヘッドの汚れ

印刷した文字がかすれたり欠けたりするときは、印刷ヘッドが汚れている可能性があります。市販の綿棒で印刷ヘッドを軽く拭いてください。

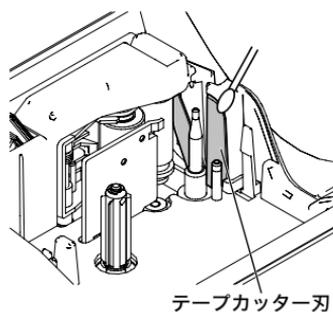


❗ 印刷ヘッドに直接手を触れないでください。

## ■ テープカッター刃の汚れ

テープをカットし続けると、テープの粘着材がカッター刃に付着して、切れ味が悪くなったり、テープづまりを起こしたりする可能性があります。1年に1度程度、市販の綿棒にアルコールをつけてカッター刃を拭いてください。

❗ カッター刃に直接手を触れないでください。けがをする危険があります。



## 3. 困ったときには

### ■ 初期化（リセット）する

本体に保存されていたデータの内容を、購入時の状態（初期状態）に戻したい場合、もしくは、表示が乱れて正常な動作が行われない場合は、内部メモリの初期化を行ってください。

- ① 初期化を行うと、入力した文章、保存したファイルなどが全て消去されます。初期化してもよいか十分に確認してから操作してください。

#### 1 電源を切った状態で、**[シフト]**と**[Rた]**を押しながら**[C]**を押します。

「初期化しました。」と表示されます。

初期化しました。

- ② **[シフト]**と**[Rた]**と**[C]**を同時に押してください。**[C]**を先に離したあと、残りのキーを離してください。

#### 2 入力画面が表示され、初期化が終了します。

### ■ こんなメッセージがでたときは

メッセージ	原因と対処
① 電池残量が少なくなりました。	電池の残量が少なくなると、印刷後にこのメッセージが表示されます。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、電源 OFF 後、電池交換、または、AC アダプタを本機に接続して、印刷を行ってください。
① 電池を交換してください。	電池残量がなくなると、印刷後にこのメッセージが表示されます。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、電源 OFF 後、電池交換、または、AC アダプタを本機に接続して、印刷を行ってください。
① 電池を確認してください。	電源 OFF 後、セットした電池種類、電池の向き、消耗した電池を使用していないか確認し、入れ直してください。
① ACアダプタの種類が違います。	専用アダプタ以外のアダプタを使用しています。必ず、付属の専用アダプタを使用してください。
① カッターエラーです。	カッターが正常に動作していない可能性があります。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、電源を入れ直してから、再度印刷を行ってください。パソコンと接続して使用している場合も同様です。
① データが入力されていません。	文字やイラストなど入力画面に何も入力されていません。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字やイラストなどを入力してから印刷、プレビューを行ってください。
① テープカセットが装着されていません。	テープカセットがセットされていません。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、テープカセットを正しくセットしてから、印刷、プレビューを行ってください。

メッセージ	原因と対処
 テープカセットが交換されました。	印刷中、カット動作中にテープカセットを交換しないでください。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、正しいテープカセットをセットしてから、印刷を行ってください。
 入力可能な行数は最大5行です。	改行できるのは5行までです。5行以上は入力できません。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消してください。
 このテープ幅は4行が最大行数です。	入力されているテキストの行数が、セットされているテープ幅で印刷できる最大行数を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、行数を減らすか、印刷可能なテープ幅のテープカセットに交換してください。
 このテープ幅は3行が最大行数です。	入力されているテキストの行数が、セットされているテープ幅で印刷できる最大行数を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、行数を減らすか、印刷可能なテープ幅のテープカセットに交換してください。
 このテープ幅は2行が最大行数です。	入力されているテキストの行数が、セットされているテープ幅で印刷できる最大行数を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、行数を減らすか、印刷可能なテープ幅のテープカセットに交換してください。
 全ブロック合計で9までです。	改ブロックできるのは9ブロックまでです。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消してください。
 入力可能文字数を超えています。	入力できる文字数は、操作によって異なります。入力可能文字数を超えると文字の入力、挿入はできません。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字数を調整してください。
 1mを超える入力データは印刷できません。	テープの長さが1mを超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字サイズを小さくするか、文字数を減らしてください。
 24mmテープカセットを装着してください。	24mm テープ幅に定められたテンプレートにおいて、24mm 幅以外のテープがセットされています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、24mm 幅のテープカセットにセットし直してください。
 18mmテープカセットを装着してください。	18mm テープ幅に定められたテンプレートにおいて、18mm 幅以外のテープがセットされています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、18mm 幅のテープカセットにセットし直してください。
 12mmテープカセットを装着してください。	12mm テープ幅に定められたテンプレートにおいて、12mm 幅以外のテープがセットされています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、12mm 幅のテープカセットにセットし直してください。
 9mmテープカセットを装着してください。	9mm テープ幅に定められたテンプレートにおいて、9mm 幅以外のテープがセットされています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、9mm 幅のテープカセットにセットし直してください。
 6mmテープカセットを装着してください。	6mm テープ幅に定められたテンプレートにおいて、6mm 幅以外のテープがセットされています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、6mm 幅のテープカセットにセットし直してください。
 文字数が多く、このレイアウトに変更できません。	テンプレートにおいて、レイアウトを変更すると、変更後のレイアウトの入力可能文字数を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消してください。

メッセージ	原因と対処
 設定可能範囲外の数値です。	ラベル長設定において、設定範囲外の数値を入力しています。30mm～300mmの範囲で設定してください。
 入力データがラベル長設定を超えています。	入力されているデータの長さが、設定されているラベル長を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字サイズを小さくする、文字数を減らす、または、ラベル長設定を変更してください。
 文字サイズ設定が大きすぎます。	設定した文字サイズが、印字可能範囲を超えています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、文字サイズを小さくしてください。
 メモリ容量を超えたため、保存できません。	メモリの残容量がありません。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、保存してあるファイルを削除するなどして、メモリ容量を調整してください。
 入力桁数不足です。	バーコードの入力では、入力桁数が固定されています。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、固定桁数までデータを入力してください。
 先頭/終了は英字を指定してください。	バーコード規格「CODABAR」は、スタート/ストップコードにA～Dの入力が必要です。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消し、A～Dを入力してください。
 入力可能なバーコードは最大5個です。	入力可能なバーコードは、5個までです。いずれかのキーを押してエラーメッセージを消してください。

※上記以外の表示が出た場合は、マックス お客様相談ダイヤル（→P.118）にお問い合わせください。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■故障かな？と思ったら

### ●正常な動作が行われない

「初期化（リセット）する」（→P.113）を参照し、本体の初期化を行ってください。

### ●電源が入らない、画面に何も表示されない

ACアダプタはきちんと接続されていますか？	専用ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
専用のACアダプタを使用していますか？	付属の専用ACアダプタをご使用ください。
電池が消耗していませんか？	新しい電池（別売）に交換してください。

### ●操作中に突然電源が切れた

ACアダプタはきちんと接続されていますか？	専用ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
電池が消耗していませんか？	新しい電池（別売）に交換してください。

### ●を押しても何も印刷されない、テープが出てこない

テキストは入力されていますか？	何も入力されていないと印刷されません。
付属ケーブル（USB）はきちんと接続されていますか？（パソコン接続時）	付属ケーブル（USB）が正しく接続されているか確認してください。
残量のあるレタリテープが正しくセットされていますか？	残量のあるレタリテープが正しくセットされているか確認してください。
テープの先端が曲がっていませんか？	曲がっているテープ先端をハサミで切ってまっすぐにしてテープ出口から出るように正しくセットし直してください。
テープがつまっていませんか？	レタリテープを取り出し、つまったテープ部分をゆっくり引き出して、ハサミで切ってください。テープ先端がカセットの「テープガイド」を通っていることを確認して正しくセットし直してください。

 印刷中やテープ送り中にテープ出口をふさがないでください。テープづまりの原因になります。

### ●テープに文字がきちんと印刷されない

レタリテープは正しくセットされていますか？	レタリテープはカチッと音がするまでしっかりとセットしてください。
印刷ヘッドが汚れていませんか？	印刷ヘッドが汚れていると文字がかすれたり、欠けたりします。市販の綿棒で印刷ヘッドを軽くふいてください。
カット形式が「送りなし」「カットなし」になっていませんか？	枠/ラベル長さ設定メニューのカット形式が「送りなし」「カットなし」に設定されている場合、印刷後にテープ送りをしてください。

## ●インクリボンがテープと一緒にテープ出口から出てきた

インクリボンがたるんだままレタリテープをセットしていませんか？

印刷したテープを手で引っ張りだしませんでしたか？

インクリボンが切れている場合は、新しいレタリテープ（別売）に交換してください。インクリボンが切れていない場合は、テープをカットしないままレタリテープを取り出し、下図の方法でゆっくりインクリボンを巻き取ってください。



レタリテープをセットするときにインクリボンのたるみを取ってください。印刷したテープは絶対に引っ張り出さないでください。インクリボン飛び出しの原因になります。

## ●文章の途中で印刷が止まって印刷できない

レタリテープの残りはありますか？

黒い縞模様のテープが出てきたら、レタリテープ終了です。新しいレタリテープ（別売）に交換してください。

ACアダプタはきちんと接続されていますか？

ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

## ●ラベルが自動でカットされない

カット形式が「送りなし」または「カットなし」になっていませんか？

枠/ラベル長さ設定メニューのカット形式が「送りなし」「カットなし」に設定されていると自動でカットされません。カット形式設定を確認してください。

特殊テープの設定になっていませんか？

設定メニューの<特殊テープ>で「通常テープ」に設定を変更してください。

## ●テープを貼ることができない

裏紙をはがしましたか？

裏紙をはがしてから貼ってください。

貼るところや物は適していますか？

水や油がついているところ、汚れているところ、表面が凸凹しているところなどはテープが貼れなかったり、はがれやすくなったりします。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ ユーザーサポートについて

### 保証書：

本機に付属しています。販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめになってください。保証書、保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

### お問い合わせ：

アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合、下記までお問い合わせください。

### マックス お客様相談ダイヤル

TEL : 0120 - 510 - 200

受付時間 : 9 : 00 ~ 18 : 00

※日・祝祭日および当社休日を除く

マックスのホームページ (<http://www.max-ltd.co.jp/>) では、次のようなサービスをご提供しています。

- 最新ソフトのダウンロード（必要に応じての公開になります。）
- メールでのお問い合わせ
- 新製品情報

## 4. 長期間お使いにならないときは

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

### ■ 本体を保管する

- ・長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してから保管してください。
- ・長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず AC アダプタを本機及びコンセントから抜いて保管してください。

 電池を取り出して保管すると、メモリなどに保存されていたデータが消えます。

### ■ ソフトウェアをアンインストールする

#### P-touch Editor をアンインストールする

プログラム (P-touch Editor) をパソコンからアンインストール (削除) します。

#### 1 [マイコンピュータ] の [プログラムの追加と削除] を選択します。

[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。



Windows® 98SE/Me/2000 Pro の場合

[スタート] メニュー - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

#### 2 削除するプログラム「MAX P-touch Editor Version 4.2」を選択します。



Windows® 98SE/Me の場合

[アプリケーションの追加と削除プロパティ] 画面で、[インストールと削除] タブをクリックし、削除するプログラム「MAX P-touch Editor Version 4.2」を選択します。

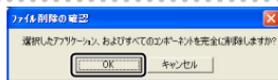


#### 3 [変更と削除] をクリックします。

[ファイル削除の確認] ダイアログボックスが表示されます。

#### 4 [OK] をクリックします。

アンインストールが開始されます。  
アンインストールが完了すると、[メンテナンスの完了] 画面が表示されます。



#### 5 [完了] をクリックします。

プログラムがアンインストール (削除) されます。



# 付録

## 1. バーコード対応一覧

本機または P-touch Editor を使って、商品管理やレジスターなどに利用できるバーコードラベルを簡単に作成することができます。バーコードには様々な規格がありますので、作成する規格、バーコードリーダーで読み取れる規格を確認してから作成してください。

本機で作成できるバーコードは、以下のとおりです。

規格	形式	文字	桁数	本機のみで印刷、 入力できるもの
CODE39	一次元コード	0-9,a-z,\$,%+, -, スペース	1-250	○ (1 ~ 46 桁)
I-2/5 (ITF)	一次元コード	0-9	1-250	○ (1 ~ 48 桁)
UPC-A	一次元コード	0-9	11+1 (チェックデジット)	○
UPC-E	一次元コード	0-9	6+1 (チェックデジット)	○
JAN13 (EAN13)	一次元コード	0-9	12+1 (チェックデジット)	○
JAN8 (EAN8)	一次元コード	0-9	7+1 (チェックデジット)	○
CODABAR (NW-7)	一次元コード	0-9, A-D, \$, /, +, -,	3-250	○ (3 ~ 48 桁)
CODE128	一次元コード	全 ASCII (128 文字) 制御コード (37 種類)	1-250	/
EAN128	一次元コード	全 ASCII (128 文字) 制御コード (37 種類)	1-250	
POSTNET	一次元コード	0-9	5,9,11 <sup>※1</sup>	
Laser Bar Code	一次元コード	0-9	3,5,7,9,11,13,15 <sup>※2</sup>	
ISBN-2	一次元コード	0-9	14+1 (チェックデジット)	
ISBN-5	一次元コード	0-9	17+1 (チェックデジット)	
カスタマバーコード	一次元コード	0-9,-	7-99	
PDF417	二次元コード (スタック型)	全文字	1-1850 (数字のみ最大 2710)	
QR コード	二次元コード (マトリックス型)	全文字	1-1817 (数字のみ最大 7089)	
マイクロ QR コード	二次元コード (マトリックス型)	全文字	1-9 (数字のみ最大 35)	

※1 POSTNET は、データ総和の 1 桁目が「0」になるように算出します。

※2 Laser Bar Code は、データ総和の 1 桁目がチェックデジットとなります。

### ① バーコード印刷の注意

バーコードを印刷するときは、以下の点に注意してください。

- 本機はバーコードラベル専用機ではありません。  
本機で作成したバーコードラベルは、使用するバーコードリーダーで読み取りができることを確認の上、使用してください。
- 万一、バーコードの誤読等による損害が発生しても、当社は一切責任を負いません。
- バーコードを印字する場合は、なるべく白ベース/黒インクのテープを使用してください。  
これ以外のテープでは、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。また、QRCODEを印刷する場合は、つや消しのラミネートテープが最適です。
- バーコードの幅は、なるべく大きく設定してください。小さく設定した場合、バーコードリーダーによっては読み取れないことがあります。
- バーコードが含まれたラベルを大量に連続して印刷すると、プリントヘッドが高温になり、正しく印刷できなくなることがあります。

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 2. JIS 外漢字一覧

「読み」は一例です。これ以外の「読み」で変換することもできます。

(おう) 鷗(くず) 葛(ぎ) 祇(ごうじ) 麴(さば) 鯖(さび) 鯖(しゅう) 繡  
 (だ) 驎(たる) 樽(つかむ) 摺(てん) 塙(はつ) 潑(たく) 啄(てん) 豕  
 (はし) 槁(くわ) 乘(たか) 高(さき) 崎(のぼる) 鼻(やなぎ) 柳  
 (はま) 瀨(よし) 吉(さかき) 榊(ね) 禰(たつみ) 巽(やなぎ) 築  
 (つじ) 辻(あう) 逢(ほう) 蓬(はず) 蓮(つち) 槌(ひ) 樋(つか) 塚  
 (なぎさ) 渚(はし) 箸(とく) 德(あお) 青(くろ) 黒(あめ) 飴  
 (もち) 餅(くし) 櫛(より) 頼(せ) 瀨(ず) 逗(やり) 鐘(なだ) 灘  
 (ほう) 庖(なら) 櫛(ます) 鱗(なお) 猶(かすり) 認(かん) 潤  
 (いのしし) 猪(けん) 劔(さざなみ) 漣(ちまた) 巷(せん) 撰(け) 祢  
 (とう) 禱(てい) 鄭(そ) 噲(あけぼの) 曙(とろ) 澗(えさ) 餌  
 (まゆずみ) 黛(ほむら) 焰(こも) 蔣(せみ) 蟬(ろう) 蠟(らい) 萊  
 (たん) 簞(びょう) 屏(お) 緒(きよ) 清(きょう) 饗(す) 巢  
 (うまや) 厩(かめ) 龜(うね) 采(こずえ) 梢(たこ) 蛸(すり) 摺  
 (すい) 翠(もみ) 靱(さつ) 薩(たな) 棚(な) 那(みぞ) 溝(さや) 鞞  
 (いわし) 鰯(いる) 煎(なぎ) 棚(ご) 悟(はぎ) 籊(つる) 藪  
 (かみ) 神(ふく) 福(しょう) 祥(ろう) 郎(なご) 籊(き) 菴  
 (ひこ) 彦(とし) 敏(ゆう) 祐(りゅう) 隆(しゃ) 社(しゅく) 祝  
 (うみ) 海(かおる) 薰(あし) 芦

※ 本表に記載の文字は、表示される文字あるいは実際に印刷される文字(字形)と異なるものがあります。



記号分類	記号																							
生き物																								
花と木																								
食べ物																								
乗り物																								
風景																								
星座と宇宙																								
趣味																								
																								

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## 4. ローマ字変換一覧

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
か	か KA CA	き KI	く KU CU QU	け KE	こ KO CO
さ	さ SA	し SI SHI CI	す SU	せ SE CE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん	ん NN				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SHA	しい SHI SHI	しゅ SHU	しえ SHE	しよ SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
にゃ	にゃ NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO

みゃ	みゃ MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO
りゃ	りゃ RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じい ZYI JI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
くぁ	くぁ QA QWA	くぃ QI QWI	くぅ QU QWU	くえ QE QWE	くぉ QO QWO
ぐぁ	ぐぁ GWA	ぐぃ GWI	ぐぅ GWU	ぐえ GWE	ぐぉ GWO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI	つゅ TSU	つえ TSE	つぉ TSO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI	ふゅ FU	ふえ FE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃい FYI	ふゅゅ FYU	ふええ FYE	ふよよ FYO
づぁ	づぁ VA	づぃ VI	づゅ VU	づえ VE	づぉ VO
づゃ	づゃ VYA	づぃい VYI	づゅゅ VYU	づええ VYE	づよよ VYO
いえ				いえ YE	
あ	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO
か	か LKA			け LKE	
っ			っ LTU LTSU	二重子音+ 母音	
ゃ	ゃ LYA		ゅ LYU		ょ LYO
わ	わ LWA				

※「ゐ」と「ゑ」は変換が必要です。

# 5.仕様

## ■ 本体

項目	詳細	
入力	キーボード キー配列 漢字変換	ピアノキー式キーボード (67 キー) QWERTY 配列 学習機能付き最長一致単文節変換 (辞書登録語数 92,164 語、うち単漢字 14,577 語)
表示	表示装置 文字表示	ドットマトリックス LCD 8 文字×3 行 (128 ドット×48 ドット) 白色バックライト付
印刷	印刷方式 印刷ヘッド 印刷幅 印刷スピード レタリテープ テープカッター 印刷行数  印刷方向 連続印刷 プレビュー カット形式設定	熱転写方式/感熱方式 180dpi / 128 ドット 最大 18.1mm (24mm 幅テープ使用時) 約 10mm / 秒 6、9、12、18、24mm 幅対応 本体内蔵自動式フルカット 24mm 幅テープ: 1 ~ 5 行 18mm 幅テープ: 1 ~ 4 行、12mm 幅テープ: 1 ~ 3 行 9mm 幅テープ: 1 ~ 2 行、6mm 幅テープ: 1 ~ 2 行 横書き、縦書き 1 ~ 99 枚 あり 余白あり/余白小/送りなし/カットなし
文字	内蔵文字数  書体 フォント 文字サイズ 文字装飾 文字間 文字幅 字揃え	7,366 文字 (JIS 第 1 水準漢字 2,965 文字、JIS 第 2 水準漢字 3,390 文字、JIS 外漢字 116 文字、ひらがな/カタカナ 172 文字、英数字 62 文字、その他記号 661 文字) 明朝体、ゴシック体 ドットイメージフォント (16ドット/24ドット/32ドット/48ドット) 7/9/12/18/24/36/48pt 太字、袋文字、影付き、立体、斜体 普通/狭い ×1 / ×3/2 / ×2 / ×1/2 / ×2/3 左寄せ/中央揃え/右寄せ/均等割付
記憶	文章メモリ メモリ登録	最大 186 文字 (改行マーク等含む) 最大 99 ファイル 2260 文字
その他機能	飾り枠 テンプレート機能  画面の濃さ	20 種類 用途別 / フリーラベル / ケーブルマーキング カスタマイズテンプレート (最大 10 種類) 5 段階 (+2, +1, 0, -1, -2)
電源・サイズ他	本体サイズ 本体質量 電源 最大消費電力 オートパワーオフ 動作温度・湿度	180 (W) x 248 (D) x 72 (H) mm 850g (レタリテープを除く) 専用 AC アダプタ、単 3 アルカリ乾電池 12W 以下 5 分 (AC アダプタ時およびパソコン接続時は 60 分) 10°C ~ 35°C / 20% ~ 80% (無結露)

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

## ■ パソコン接続時

### 動作環境

項目	詳細
OS	Microsoft® Windows® XP/Vista/7
インターフェイス	USB ポート (USB2.0 12Mbps Full Speed)
ハードディスク	70MB 以上の空き容量
メモリ	64MB 以上搭載
モニタ	SVGA,HighColor 以上のグラフィックカード
その他	CD-ROM ドライブ

※1 ハードディスクの空き容量は、ソフトウェアの全オプションをインストールしたときに必要な空き容量です。

# 6. 索引

## アルファベット

AC アダプタ	P.8, 14
AC アダプタ差し込み口	P.9, 14
A タイプ	P.86
B タイプ	P.86
CD-ROM	P.8
P-touch Backup Manager	P.109, 110
P-touch Editor	P.82, 88, 119
P-touch Transfer Manager	P.98, 102, 106
USB ポート	P.9, 86

## あ

アルファベット	P.27
アルファベットを入力する	P.34
アンインストール	P.119
安全上のご注意	P.6

## い

印刷イメージ	P.43
印刷する	P.44
印刷ヘッド	P.112
インストール	P.83, 84

## え

液晶表示画面	P.9
--------	-----

## お

大文字 / 小文字	P.27
お気に入り設定	P.36, 37
送りなし	P.66
お手入れのしかた	P.111
オリジナルテンプレート	P.95

## か

カーソル	P.12, 38
カーソル選択マーク	P.12
改行する	P.40
改行マーク	P.12
改ブロックする	P.42
カスタマイズ	P.95
下線・取消線を設定する	P.60
カットなし	P.66
かなめくり入力	P.26, 29
画面	P.12
画面の濃さ	P.111
漢字を入力する	P.32

## き

キーボード	P.9, 10
記号一覧	P.122

記号やイラストを入力する	P.36
行頭マーク	P.12
行を増やす	P.41

## け

ケーブルマーキングテプレート	P.79
ケーブルマーキングテンプレート	P.78
ケーブルマーキングラベルテンプレート一覧	P.78

## こ

故障かな?と思ったら	P.116
困ったときには	P.113
こんなメッセージがでたときは	P.113

## さ

サイズを変更する	P.55
----------	------

## し

字揃えを変更する	P.57
自動サイズ縮小優先を設定する	P.65
仕様	P.125
使用上のご注意	P.8
初期化 (リセット) する	P.113
書体を変更する	P.54
シリアル No. シール	P.9

## す

数字を入力する	P.35
スペースを入力する	P.35
全ての文章を削除する	P.39

## せ

設定ガイダンス	P.12
---------	------

## そ

装飾を変更する	P.56
ソフトウェア	P.82, 84, 119

## ち

長期間お使いにならないときは	P.119
----------------	-------

## つ

通常表示	P.12
つまみ	P.16

## て

データベースを使用する	P.101
テープ送り	P.18
テープガイド	P.16
テープカセット確認窓	P.9
テープカセットカバー	P.9, 16
テープカセットケース	P.9

お使い前に

本体準備

試しに作る

入力・編集

ラベル印刷

文章保存

作成の応用

パソコン活用

カスタマイズ

メンテナンス

付録

テープカタログ .....	P.8	本体各部の名前 .....	P.9
テープカッター .....	P.9	本体を保管する .....	P.119
テープカッター刃 .....	P.112		
テープ出口 .....	P.9, 16	<b>ま</b>	
電源 .....	P.17	まわりどめ .....	P.16
電源を準備する .....	P.14	<b>み</b>	
電池カバー .....	P.9, 15	ミラー印刷 .....	P.47
電池カバーフック .....	P.9, 15		
電池ケース .....	P.9, 15	<b>も</b>	
電池をセットする .....	P.15	文字間を変更する .....	P.59
テンプレート .....	P.71	文字の設定を変更する .....	P.53
		文字幅を変更する .....	P.58
<b>と</b>		文字を挿入する .....	P.39
動作環境 .....	P.83, 126	文字を連結する .....	P.42
特殊テープ .....	P.67		
取扱説明書 .....	P.8	<b>ゆ</b>	
		ユーザーサポート .....	P.118
<b>に</b>			
日本語フォント .....	P.82	<b>よ</b>	
入力方式 .....	P.26	用途別フォーマット .....	P.71, 73
入力モード .....	P.27	用途別ラベルフォーマット一覧 .....	P.71
		余白小 .....	P.66
<b>は</b>			
バーコード設定一覧 .....	P.69	<b>ら</b>	
バーコード対応一覧 .....	P.120	ラベル長 .....	P.12
バーコードを設定する .....	P.69	ラベルに枠を設定する .....	P.62
バーコードを入力する .....	P.70	ラベルの長さ補正を設定する .....	P.67
ハーフスリット .....	P.48	ラベルの長さを設定する .....	P.64
バックアップしたデータを本機に戻す .....	P.110	ラベルの余白と切り方を設定する .....	P.66
反転表示 .....	P.12	ラベルを貼り付ける .....	P.48
<b>ひ</b>		<b>り</b>	
ひらがな / カタカナ .....	P.27	リリースレバー .....	P.9
ひらがな / カタカナを入力する .....	P.28		
		<b>れ</b>	
<b>ふ</b>		レタリテープ .....	P.8
ファイルに保存する .....	P.49	レタリテープをセットする .....	P.16
ファイルを印刷する .....	P.52	連番印刷 .....	P.45
ファイルを削除する .....	P.51		
ファイルを呼び出す .....	P.50	<b>る</b>	
複数枚印刷する .....	P.44	ローマ字入力 .....	P.26, 28
付属ケーブル (USB) .....	P.8, 86	ローマ字変換一覧 .....	P.124
付属品 .....	P.8	ロゴ (イメージ) を使用する .....	P.106
フリーフォーマット .....	P.75, 76		
フリーラベルフォーマット一覧 .....	P.75	<b>わ</b>	
プリンタドライバ .....	P.82	枠の候補と印刷サンプル .....	P.62
文章全体の文字設定を一括して変更する .....	P.61		
<b>へ</b>			
ヘルプ .....	P.92		
編集画面 .....	P.89		
<b>ほ</b>			
本機のデータをバックアップする .....	P.109		
本体 .....	P.8, 111, 125		



修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

## MAX マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8108 (代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8141 (代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141 (代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121 (代)
新潟支店	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112 (代)
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619 (代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031 (代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331 (代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 411-5416 (代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541 (代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341 (代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661 (代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377 (代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL (054) 237-6116 (代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871 (代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516 (代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599 (代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487 (代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778 (代)
東京サービスステーション	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 548-5332 (代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624 (代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815 (代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670 (代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 451-6430 (代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

LW6860001

